FUJITSU

42型ワイドプラズマディスプレイ
形名 PDS4221J-H／PDS4221J-S

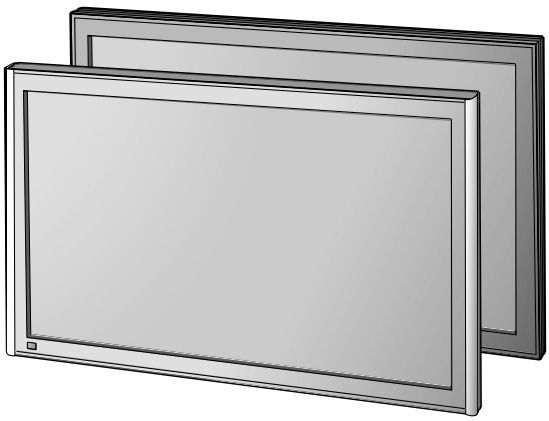
Plasmavision®

Plasmavision

取扱説明書

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
特に、安全上のご注意は必ず読んで正しくお使いください。
ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに「保証書」とともに必ず保存してください。

保証書別添



目　次

ご使用前に
安全上のご注意 …… 2
特長 …… 6
知っておいていただきたいこと …… 7
お手入れ …… 8
設置 …… 9
転倒防止 …… 10
付属品の確認 …… 11

使い方
各部の名称と働き …… 12
リモコンの取扱い …… 17
外部機器の接続 …… 18
基本操作 …… 20
入力モードを選択する …… 21
ワイド画面で見る …… 22
メニューの使い方 …… 24

設定・調整
映像を調整する（PICTURE） …… 28
画面位置・サイズを調整する(POSITION/SIZE) … 30
音声を調整する（SOUND） …… 32
その他の設定（OTHERS） …… 34
拡張機能（Extended menu） …… 37

その他
仕様 …… 41
オプション品 …… 42
アフターサービス …… 43
全国サービスネットワーク …… 裏表紙

株式会社 富士通ゼネラル

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この項目は、いずれも安全上に関する内容ですので、必ず守ってください。
「警告」「注意」の意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定されるものおよび物的損害のみの発生が想定されるもの。

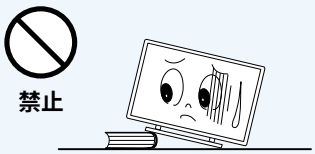
絵表示について

	⚠ 記号は、警告・注意を告げるものです。
	⃠ 記号は、禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くの絵は具体的な禁止内容を表しています。（左図の場合は、分解や改造の禁止）
	● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中の絵は具体的な指示内容を表しています。（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）

据付け時

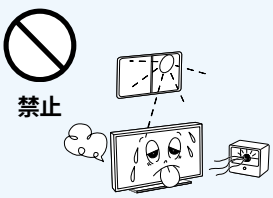
⚠警告

ぐらついた台の上や不安定な所に据え付けないでください。



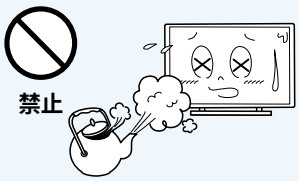
直接床に置いたり壁に立てかけたりしないでください。転倒によるケガや火災・感電の原因となります。

熱器具などを近付けないでください。



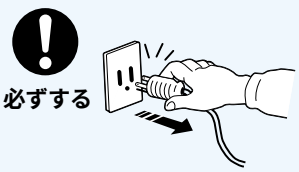
直射日光の当たる所やエアコンの吹出口近く、ストーブなどの近くに置くとキャビネットが変形したり、内部が高温となり火災の原因となります。

湿気やホコリの多い所に据え付けないでください。



水蒸気、油煙などの近くに置かないでください。火災・感電の原因となります。

電源プラグは、必ず本機の近くの容易に抜き差しできる場所のコンセントを使用してください。

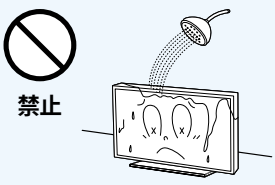


本機に異常があるときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのままにしておきますと火災・感電の原因となります。

通風孔をふさぐような据付けはしないでください。

カーテンやテーブルクロスなどを掛けたりしないでください。また、あお向けや逆さまにするなどの状態でご使用になると内部が高温となり火災の原因となります。

屋外や湿気の多い場所に据え付けないでください。



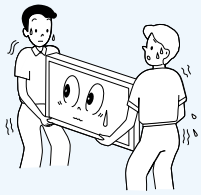
風呂場やシャワー室などの湿気の多い場所で使用しますと火災・感電の原因となります。

据付け時

⚠警告

据え付けるときや移設するときは、販売店に依頼してください。

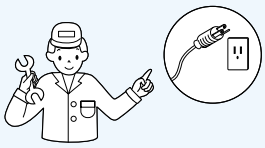
必ずする



ご自分で据付け工事や移設工事をされると、落下、倒れによるケガや火災・感電の原因となります。必ず据え付けてから使用してください。

本機の電源プラグは、アース付3芯プラグですのでコンセントが2芯専用の場合は、アース工事をしてください。

必ずする



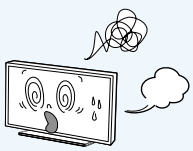
アース工事をしないと感電の原因となります。販売店にご相談ください。

ご使用時

⚠警告

煙が出る、異臭がするなどの異常があるときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

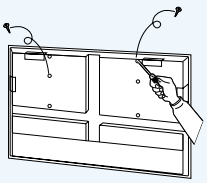
プラグを抜く



異常状態のときは危険ですので、必ず電源プラグを抜いて煙が出なくなるのを確認してから販売店にご相談ください。そのままにしておきますと火災・感電の原因となります。

裏ブタ、キャビネットカバーをはずしたり分解や改造をしないでください。

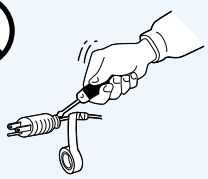
分解禁止



内部には電圧の高い部分や温度の高い部分があり、触れるとやけどや感電の原因となります。

電源コードやプラグを破損しないようにしてください。

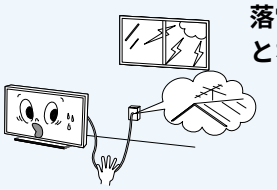
禁止



傷付けたり、加工しないでください。また重い物を載せたり、加熱したりすると破損することがあり、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りはじめたら、本機および電源プラグには触れないでください。

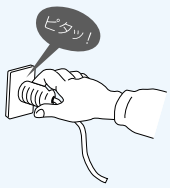
接触禁止



落雷で感電や火災の原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

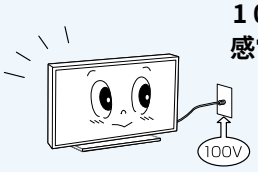
必ずする



差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となります。

電源は交流１００Ｖ専用コンセントを使用してください。

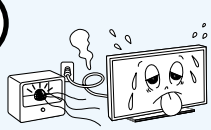
必ずする



１００Ｖ以外の電源は火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグにストーブなどの熱器具を近付けないでください。

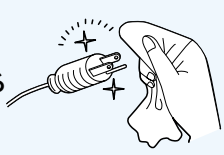
禁止



電源ケーブルを高温部に近付けないでください。火災の原因となります。

電源プラグにホコリが付着しないように定期的にホコリを取ってください。

必ずする



ホコリが付着すると電源プラグの絶縁不良により火災・感電の原因となります。

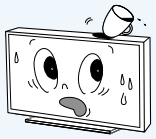
安全上のご注意（つづき）

ご使用時

⚠警告

内部に異物や水などを入れないでください。

禁止



火災・感電の原因となります。もし入ったときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

電源ランプが赤色で点滅しているときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

必ずする

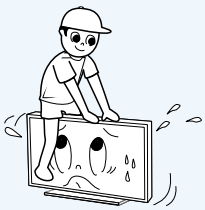
そのまま放置しますと、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

ご使用時

⚠注意

本機に乗らないでください。

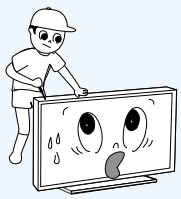
禁止



倒れたり、壊れたり、落ちたりしてケガの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

放熱ファンに触れないでください。

禁止



放熱ファンから熱風が出る場合があります。また、放熱ファンの中に棒などを入れないでください。ケガの原因となることがあります。

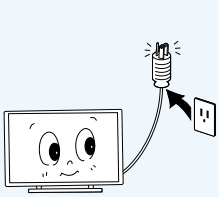
電源プラグを抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

必ずする

電源コードは必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線し、発熱・発火の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。

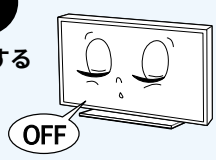
プラグを抜く



プラグ部分にホコリがたまって、発煙・発火の原因となることがあります。

各機器との接続は、電源を切ってから行ってください。

必ずする



必ず、本機および接続する機器の電源を切ってから行ってください。切らずに行いますと感電の原因となることがあります。

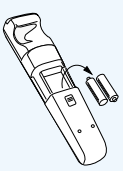
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

禁止

感電の原因となることがあります。

リモコンを長期間ご使用にならないときは、電池を取り出してください。

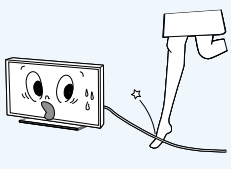
必ずする



電池から液が漏れる場合があります。ぬれた液が皮膚についたり、目や口に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。なお、目がかすむなどの症状が出た場合は、医師にご相談ください。

接続ケーブルを引っ張ったり、引っかけたりしないでください。

禁止

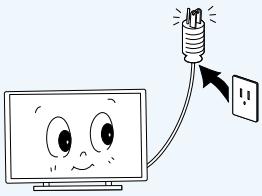


倒れたり、落ちたりしてケガの原因となることがあります。特に、お子様にはご注意ください。

ご使用時

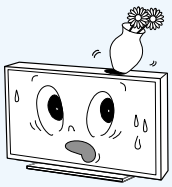
⚠注意

移動させる場合や、お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。接続したままですと感電の原因となることがあります。

本機の上に、物を置かないでください。

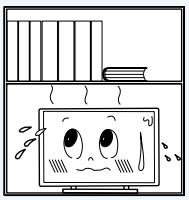


倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

衝撃を与えないでください。

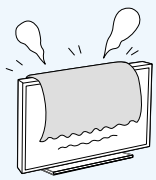
前面は、ガラスを使用しているため衝撃を与えるとガラスが割れ、ケガの原因となることがあります。

風通しの悪い所で使わないでください。



押入れ、本箱の中などの風通しの悪い所で使わないでください。本体内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

通風孔の上に物を載せないでください。



本機にテーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、他の機器を密着させて載せたりして、通風孔をふさがないでください。本機内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

本機をあお向けや逆さまにして使用しないでください。

そのまま使用すると火災の原因となることがあります。

梱包箱や梱包袋(ビニール袋)などは、お子様などが遊びに使わないでください。

遊びに使ったりすると、ケガや窒息する原因となることがあります。

特長

本機はプラズマディスプレイパネルを使用し、奥行 8.5cm の薄型で、高画質、高機能なマルチメディアディスプレイを実現しました。

各種入力信号に対応

・ビデオ、S-ビデオ、RGB1（mD-sub コネクター）、RGB2（BNC コネクター）に加え、DVD やハイビジョンなどの高画質コンポーネントビデオ信号も入力できます。
・ビデオ入力は全世界の放送方式に対応しています。(NTSC／PAL／SECAM／N-PAL／M-PAL／4.43NTSC)
・コンポーネントビデオ入力は DVD やハイビジョン、デジタル放送信号（コンポーネントビデオ信号）に対応しています。
・RGB 入力はワイド RGB 信号をはじめ、VGA ／ SVGA ／ XGA 等の各種信号に対応しています。
・デジタル放送に対応した 525i、625i、480p、720p、1080i、の各種信号に対応しています。

1024 × 1024 ドットの高精細表示

XGA 表示（1024 × 768 ドット）の高解像度、ハイビジョンやデジタル放送の高精細画像に対応できます。

パネル輝度 500cd/cm² の高輝度化

高輝度化を実現しました。

ビデオ入力は 5 種類、RGB 入力は 3 種類の画面サイズの表示が可能

ビデオ入力では普通の映像（4：3）をそのまま映し出すノーマルモードを含め、ワイド 1、ワイド 2、ズーム 1、ズーム 2 の 5 種類の表示ができます。
RGB 入力ではノーマル、ワイド、ズームの 3 種類の表示ができます。

縦型の設置も可能

広告表示などコンテンツに合わせて縦型の設置ができます。入力モードやメニューなどの画面表示も縦型の設置に合わせて対応できます。

便利なパワーマネージメント機能

DPMS（Display Power Management Signaling）機能を持ち、入力信号が途切れたときは一定時間経過後、自動的に本機の消費電力を減少させます。

システム化に対応

・RS-232C により遠隔制御ができます。
・複数のディスプレイを使用している場合、モニターナンバーを指定して、特定のディスプレイのみを操作できます。

その他

・色温度の設定が可能です。
・2 系統の音声入力、1W ＋ 1W の内蔵スピーカーと 7W ＋ 7W の外部スピーカー出力が可能です。
・焼き付きを軽減させるホワイトスクリーン機能、スクリーンセーバー機能があります。

知っておいていただきたいこと

●長時間同一画像を表示すると、その部分の輝度が変化し、画面の一部が残像として焼き付く場合があります。本機の寿命を長くするためにも、スクリーンセーバーの機能などを利用して、長時間、連続して同一画像（パターン）を表示しないようにしてください。（39 ページ参照）

●プラズマディスプレイパネルは、非常に精密度の高い技術でつくられていて、99.99%以上の有効画素がありますが、ほんのわずかの画素が欠けたり常時点灯する場合があります。あらかじめご了承ください。

●RGB入力端子にパソコンを接続する場合、パソコンの機種によっては、映像が正常に表示されないことがあります。この場合には、販売店にご相談ください。

●本機は動作中に内部の温度が上昇するのを防ぐために放熱用のファンが取り付けられています。
放熱ファンより熱風が出る場合がありますのでご注意ください。

●本機の通風孔にホコリなどがつまり、内部温度が上昇すると、火災の原因となることがあります。
定期的に通風孔の点検・掃除をしてください。

●他の AV 機器と相互に悪い影響が生じる場合には、販売店にご相談ください。
電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音や、赤外線リモコンの誤動作などが発生した場合には設置場所を変えてください。

●RS-232C から遠隔制御する場合は、制御用アプリケーションソフトを開発願います。
ご不明な点は販売店にご連絡ください。

⚠警告

内部に異常がある場合は内蔵している保護回路により自動的に電源が「切」となります。その場合、電源ランプが赤色点滅し故障したことをお知らせします。そのまま使用しますと、火災・感電の原因となりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡下さい。

- 「Error message Condition1」と表示された場合
  ファンの異常です。主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、販売店にご連絡下さい。
- 「Error message Condition2」と表示された場合
  装置内温度異常です。主電源を切ってください。（温度が下がれば電源の再投入が可能になります。）
  電源再投入後も点灯する場合は主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、販売店にご連絡ください。
- 「電源ランプが異常点滅している場合」
  連続点滅…電源電圧異常、1 回点滅…ファン異常、2 回点滅…温度異常、3 回点滅以上…その他の異常
  点滅の状態を販売店にご連絡ください。
  主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  電源ランプの点滅のしかたで異常状態を示します。

●本機の包装材は 1 回のみの流通使用になっています。何回も使用しますと、パネルが破損することがあります。

●長時間、連続して画面を見ていると目が疲れます。ディスプレイから離れた場所からご覧になり、ときどき目を休めてください。
（画面からの距離は、1.5m 以上が目安です。）

●定期的に内部の点検・掃除を、販売店にご依頼ください。

お手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。キャビネットや画面前部のフィルター、およびリモコンが変質したり塗料がはげたりすることがあります。

キャビネット／リモコンのお手入れ

柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふき取り、乾いた柔らかい布でふき、仕上げてください。

画面のお手入れ

柔らかい布で軽くふき取ってください。
表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、強く押したり、たたいたりしないでください。

修理をご依頼される前に

故障かなと思ったら次の項目を点検してください。

こんなとき……	確認してください
電源が入らない	主電源スイッチが「入」になっていますか。
映像が出ない	各機器とのケーブルがはずれていませんか。入力機器の電源は入っていますか。 または入力端子や入力モードを間違えていませんか。
リモコンが動作しない	17ページのリモコン受信範囲で操作していますか。 本機とリモコンの間に障害物がありませんか。
画面に斑点が出る	お手持ちのAV機器が自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの妨害電波を受けていませんか。
色や色合いが悪い	映像調整が正しく設定されていますか。（28～29ページ:映像調整参照）
画面位置・サイズがずれている	画面位置・サイズが正しく設定されていますか。（30～31ページ:画面位置調整参照）
内蔵スピーカーから音声が出ない	スピーカーの設定が外部になっていませんか。（32～33ページ:音声調整参照）
外部スピーカーから音声が出ない	外部スピーカーからのケーブルがはずれていませんか。 スピーカーの設定が内部になっていませんか。（32～33ページ:音声調整参照）
音声が出ない	音声入力端子の割り当て（Audio input）が「No audio」になっていませんか 。 （37～40ページ:拡張機能参照）
「Invalid operation」と表示された場合	「Input priority」が設定されていませんか。 （37～40ページ：拡張機能参照）
「Out of range」と表示された場合	本機対応以外の信号が入力されています。適切な信号を入力してください。 垂直周波数はSVGA、XGAでは60Hzの信号を入力してください。
ピシッという音がする	室温の変化によってキャビネットが伸縮するために発生する音です。 異常ではありません。
ファーファーという音がする	本機は動作中に内部の温度が上昇するのを防ぐために放熱用のファンが取り付けられています、 ファンの回転による風きり音です。

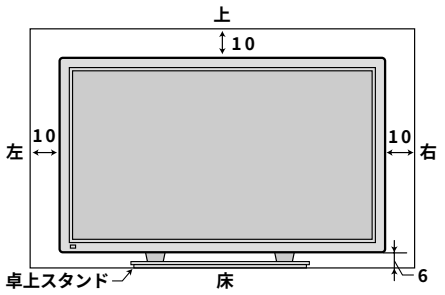
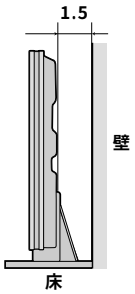
設置

本機内部の温度上昇を防止するため、本機周囲に風通しの空間を設けてください。また放熱をよくするために、本機周囲には下図の空間距離（最低距離）を設けてください。

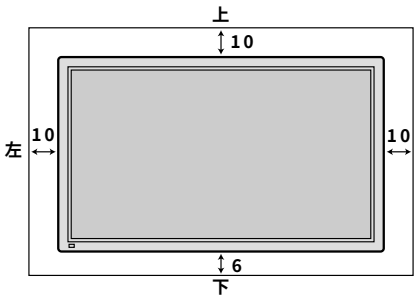
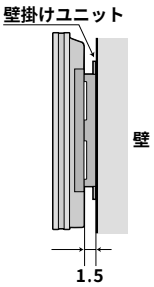
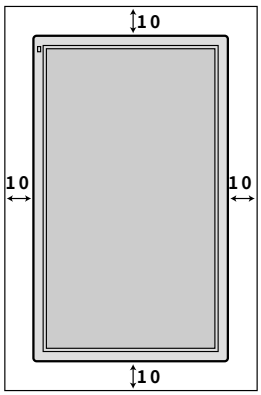
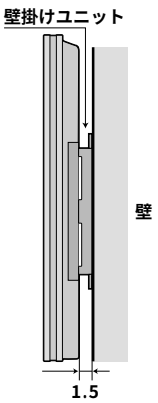
本機を設置するときには、オプションの卓上スタンド、壁掛けユニットなどを必ず使用してください。
設置は、販売店にご依頼ください。
本機を設置するときには、各オプションの取付説明書をご覧ください。

※本機の周囲温度を 0 ～ 40℃の範囲に保つことができる場所に設置してください。
※本機を左右および背面方向へは傾けないでください。
※電源コード、接続ケーブルは引っかからないように、壁、床などの隅に配してください。
※縦型に設置する場合は、どちらを上側にしても設置できます。

卓上スタンド

前　面	側　面
 (cm)	 (cm)

卓上スタンド以外（横型／縦型）

前　面	側　面
 (cm)	 (cm)
 (cm)	 (cm)

※縦型で利用するときには、文字の表示方向を変更してください。（37～40ページ：拡張機能参照）

お願い コンセントが 2 芯専用の場合は、アース工事が必要です。

参　照 オプション品については、42 ページを参照してください。

転倒防止

事故防止と地震などのときの安全確保のため、転倒防止の処置をしてください。

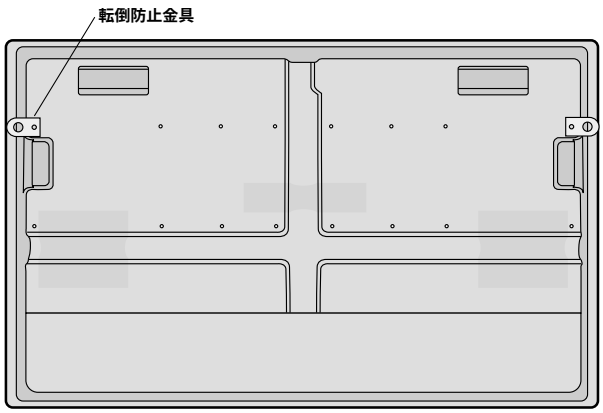
壁または柱などに固定するとき

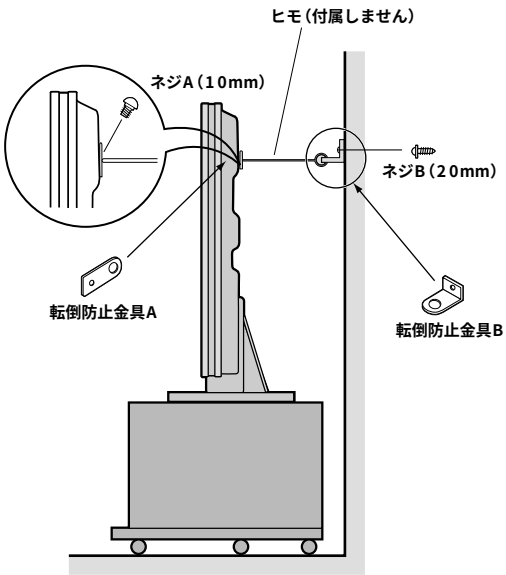
丈夫なヒモ（2 本）が必要ですので準備してください。

①本体に金具を取り付ける（左右 2ヵ所）
本体背面のネジ穴 2ヵ所に、付属品の転倒防止金具 A を、ネジ A（長さ 10mm）で取り付けます。

②壁側に金具を取り付ける（左右 2ヵ所）
壁側に付属品の転倒防止金具 B を、ネジ B（長さ 20mm）で取り付けます。
※壁側の金具を、ディスプレイの金具の位置に対して、同じ高さ、または少し低い位置に取り付けたほうが、本機の安定性が高まります。

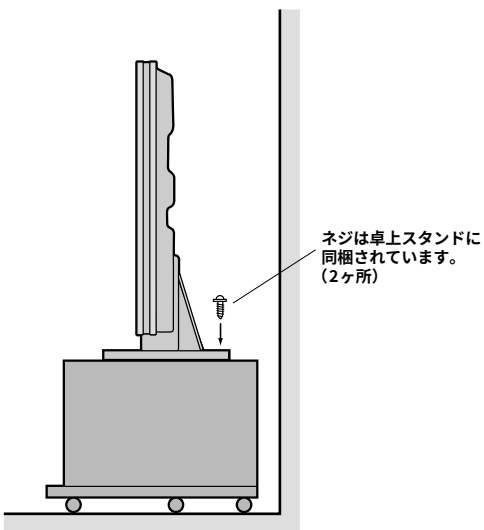
③転倒防止金具 A と B をつなぐ（左右 2ヵ所）
丈夫なヒモなどで、転倒防止金具 A と B をつないで、壁と本体を倒れないように固定します。





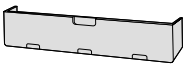
台などに固定するとき

卓上スタンド後部の固定用ネジ穴に、卓上スタンドの付属品のネジで固定します。（2ヵ所）
詳しくは、卓上スタンド P-42TT11 形の取付説明書をご覧ください。



付属品の確認

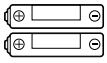
コネクターカバー…1 個



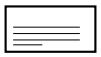
リモコン…1 個

ストラップ…1 本
（リモコン用）

単 3 形乾電池…2 本
（リモコン用）

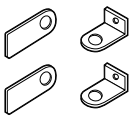


保証書…1 通



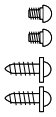
取扱説明書…1 冊

転倒防止金具…2 種類 各 2 個



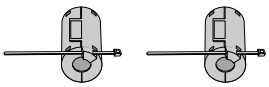
A　B

ネジ…2種類 各2本
（転倒防止金具用）

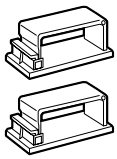


ネジ A（長さ 10mm）
ネジ B（長さ 20mm）

フェライトコア…2 個
（ワイヤークランパー付き）



ケーブルクランパー…2 個



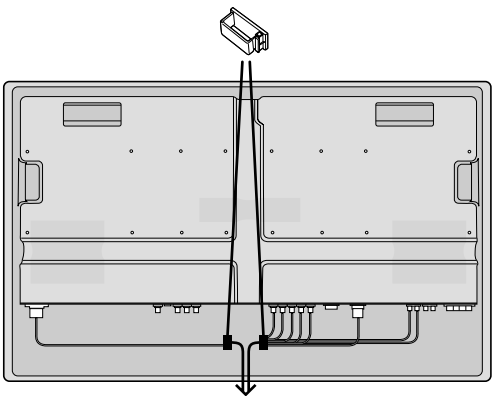
電源コード…1 本

使用方法

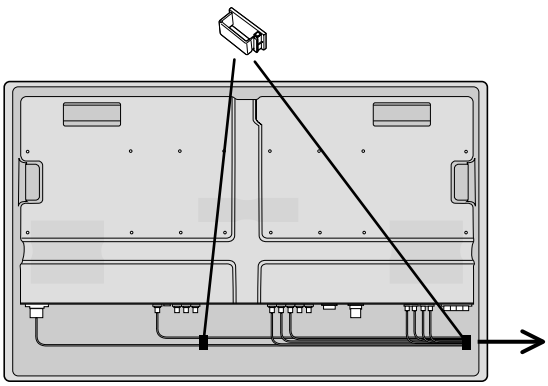
・ケーブルクランパー

付属のケーブルクランパーは、接続した信号ケーブルや電源コードを固定するために使用します。
本機を壁掛けユニットや天吊りユニットなどに取り付ける場合、図のように使用してください。

信号ケーブルを下に回すとき

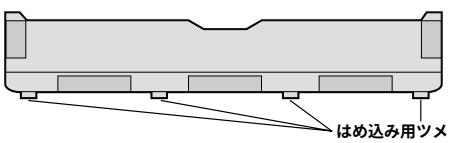


信号ケーブルを右に回すとき



・コネクターカバー

ケーブルクランパーを取り付けた後にコネクターカバーを取り付けます。
コネクターカバーをニッパなどでカットしてケーブルを取り出す場所を作り、本機に取り付けてください。

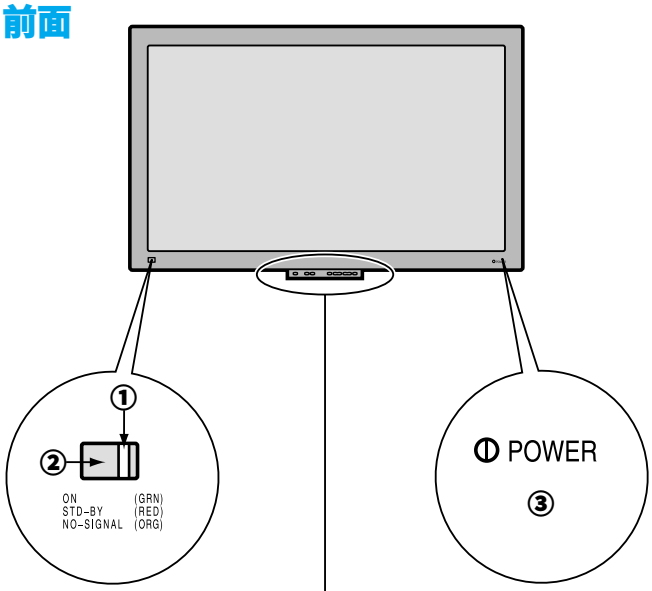


コネクター上下のはめ込み用ツメをディスプレイ本体に合わせて取り付けてください。

お知らせ　外部機器との接続ケーブルは付属されておりません。販売店にご相談のうえ、お買い求めください。

各部の名称と働き

前面

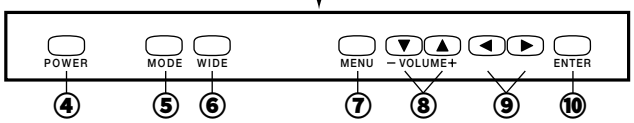


①電源ランプ
主電源スイッチの「入」「切」を表示します。
点灯（赤色）：待機状態
点灯（緑色）：電源「入」状態
点灯（橙色）：DPMS（節電機能）状態の節電状態
点滅（赤色）：内部異常（点滅のしかたで異常状態を示します。詳しくは 7 ページ参照）

②リモコン受信部
リモコンからの信号を受信します。

③主電源表示
底面に主電源スイッチがあります。

操作部



ディスプレイ底面の中央を押すと、操作部が開きます。
閉じるにはもう一度押します。

④電源ボタン（POWER）
電源を「入」「切」します。
（主電源スイッチが「入」の状態のとき）

⑤入力モード切換ボタン（MODE）
映像入力モードを切り換えます。

⑥ワイド切換ボタン（WIDE）
お好みのワイド画面に切り換えます。

⑦メニューボタン（MENU）
映像や音声の調整メニューを表示します。

⑧音量調整ボタン（VOLUME − / +）
通常は音量を調整します。
メニュー画面表示中は▼/▲として、項目を選択するときに使います。

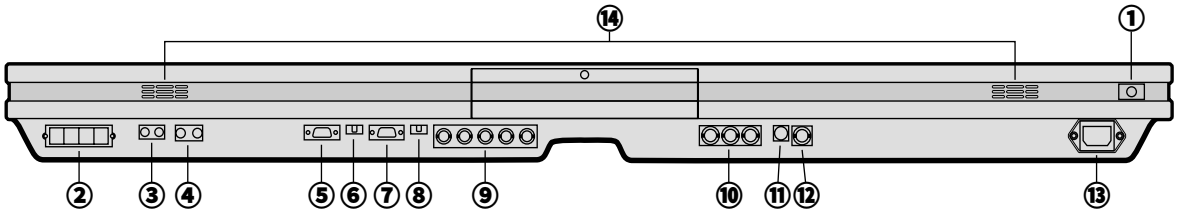
⑨調整ボタン（◀/▶）
メニュー画面表示中に◀/▶として、項目を選択、または値を調整するときに使います。

⑩決定ボタン（ENTER）
調整メニューで設定内容を決定するときに使います。

⚠警告

内部に異常がある場合は内蔵している保護回路により自動的に電源が「切」となります。その場合、電源ランプが赤色点滅し故障したことをお知らせします。そのまま使用しますと、火災・感電の原因となりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡下さい。

底面



①主電源スイッチ

電源が「切」のときに押すと、主電源が入り、電源ランプが「赤色」に点灯します。リモコン、または本機操作部で電源の「入」「切」ができるようになります。

電源が「入」のときに押すと、主電源が切れ、電源ランプが消灯します。

②外部スピーカー出力端子（EXT SP）

オプション品のスピーカーと接続します。（4 ～ 16 Ωのスピーカーをご使用ください）

ケーブルを接続するときはフェライトコアを L、R 両方のケーブルに取り付けてください。（18 ページ参照）

＊オプション品の取付説明書をご覧ください。

③音声 1 入力端子（AUDIO1 INPUT）

ビデオデッキやパソコンなどの音声出力端子と接続します。

④音声 2 入力端子（AUDIO2 INPUT）

ビデオデッキやパソコンなどの音声出力端子と接続します。

⑤RS-232C 端子 (RS-232C)

パソコンで本機を制御するための端子です。パソコンの RS-232C 端子と接続します。

＊ RS-232C ケーブルはストレートタイプを使用して下さい。

⑥RGB1 用シンクスイッチ （SYNC SW1 TTL/ANALOG(75 Ω)）

RGB1 端子の水平（H）同期信号（13 ピン）、垂直（V）同期信号（14 ピン）を 75 Ωで終端するためのスイッチです。

TTL ：RGB1 端子にパソコンからの RGB 信号を入力する場合

ANALOG（75 Ω） ：RGB1 端子にアナログ同期信号を入力する場合

⑦RGB1 入力端子 （RGB1 INPUT/mD-sub）

パソコンのモニター（アナログ RGB）出力端子と接続します。

＊接続ケーブルは、お持ちのパソコンにより異なりますので、販売店にご相談し、お買い求めください。

⑧RGB2 用シンクスイッチ（SYNC SW2 TTL/ANALOG(75 Ω)）

RGB2 端子の水平（H）同期信号、垂直（V）同期信号を 75 Ωで終端するためのスイッチです。

TTL ：RGB2 端子にパソコンからの RGB 信号を入力する場合

ANALOG（75 Ω） ：RGB2 端子にアナログ同期信号を入力する場合

⑨RGB2 入力端子 （RGB2 INPUT/BNCx5）

パソコンのモニター（アナログ RGB）出力端子と接続します。

＊接続ケーブルは、お持ちのパソコンにより異なりますので、販売店にご相談し、お買い求めください。

⑩コンポーネントビデオ入力端子（COMPONENT VIDEO INPUT）

ハイビジョン機器や DVD プレーヤー、BS デジタルチューナー等のコンポーネントビデオ出力端子（色差信号出力端子）と接続します。

⑪S ビデオ入力端子（S-VIDEO INPUT）

ビデオデッキやビデオディスクプレーヤー等の S ビデオ出力端子と接続します。

各部の名称と働き（つづき）

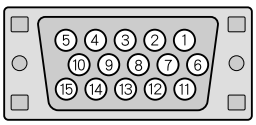
⑫ビデオ入力端子（VIDEO INPUT）
ビデオデッキやビデオディスクプレーヤーなどのビデオ出力端子と接続します。

⑬電源入力端子
付属品の電源コードを接続します。

⑭内蔵スピーカー
音声入力端子に接続された音声を出力します。

入力端子の説明

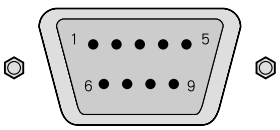
RGB1入力端子（RGB1 INPUT/mD-sub）



ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号
1	赤	9	ー
2	緑	10	グランド
3	青	11	ー
4	ー	12	ー
5	グランド	13	水平(H)同期
6	グランド	14	垂直(V)同期
7	グランド	15	ー
8	グランド	外枠	グランド

＊13ピンからの水平（H）同期信号と14ピンからの垂直（V）同期信号の種類に応じて、RGB1用のシンクスイッチを切り換えます。

RS-232C端子（RS-232C）



ピン番号	信号
1	DCD(Data Carrier Detect)
2	RD(Received Data)
3	TD(Transmit Data)
4	DTR(Data Terminal Ready)
5	GND(Ground)
6	DSR(Data Set Ready)
7	RTS(Request To Send)
8	CTS(Clear To Send)
9	RI(Ring Indication)

設定信号

本機は、RGB1、RGB2 それぞれ 8 種類の信号について保存することができます。保存したい信号を入力し、「画面位置・サイズを調整する」（30 ～ 31 ページ参照）の説明にしたがってお好みの画面に調整してください。調整が終了するとその調整値が自動的に保存されます。調整後、同じ信号が入力されると最後に保存された調整値で表示されます。

本機は、あらかじめ工場出荷時に 7 種類の信号（下表参照）に対して画面設定値が準備されています。

工場出荷設定信号（RGB1、RGB2モード）

表示（ドットライン）	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	対応信号
852×480	31.72	59.97	専用グラフィックカード使用時
640×480	31.47	59.94	VGA
800×600	37.88	60.32	SVGA 60Hz
1024×768	48.36	60.00	XGA 60Hz
848×480	31.02	60.00	
640×480	15.73	59.94	60 フィールド
640×480	15.63	50.00	50 フィールド
ユーザー設定 （RGB1,RGB2モードそれぞれ8種類）	15.63～80.00※	50.00～120.00※	

※水平、垂直周波数が範囲内でも、入力信号によっては「Out of range」が表示されることがあります。
垂直周波数が48.3～51.8、58.4～61.4（Hz）以外では、映像がぼやけて「Change reflesh rate to 60Hz」が表示されることがあります。この場合にはパソコンなどの設定を変更してください。

本機はVideo、S-video、Comp. videoモードでは入力信号により下記の信号が設定されています。

工場出荷設定信号（Comp. videoモード）

水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	対応信号
15.73	59.94	SDTV 525i
15.63	50.00	SDTV 625i
31.47	59.94	SDTV 480p
45.00	60.00	HDTV 720p
44.96	59.94	HDTV 720p
33.75	60.00	HDTV 1080i
33.72	59.94	HDTV 1080i

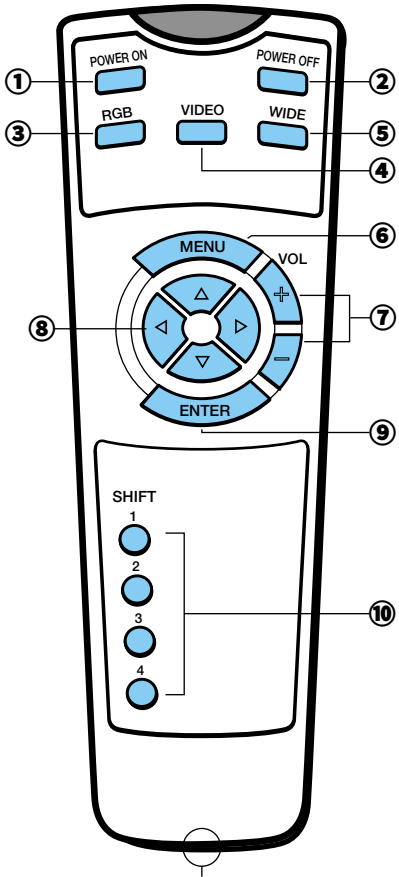
工場出荷設定信号（Video、S-videoモード）

水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	対応信号
15.73	59.94	NTSC
15.63	50.00	PAL
15.63	50.00	SECAM
15.73	59.97	4.43NTSC
15.73	59.97	M-PAL
15.63	50.00	N-PAL

本機の対応周波数範囲外の信号を入力すると「Out of range」の表示をします。
入力信号は OTHERS メニュー画面の Status で確認できます。（34 ～ 36 ページ参照）
本書に掲載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

各部の名称と働き（つづき）

リモコン



ストラップ取付け穴

・リモコン用のストラップが付属しています。
リモコン下部の取付け穴に取り付けられます。（電池カバーを外して取り付けてください）

①電源「入」ボタン（POWER ON） →20 ページ
電源を「入」にします。

②電源「切」ボタン（POWER OFF） →20 ページ
電源を「切」にします。

③RGB 入力モード切換ボタン（RGB） →21 ページ
RGB 入力モードを切り換えます。

④ビデオ入力モード切換ボタン（VIDEO） →21 ページ
ビデオ入力モードを切り換えます。

⑤ワイド切換ボタン（WIDE） →22-23 ページ
お好みのワイド画面に切り換えます。

⑥メニューボタン（MENU） →24-40 ページ
メニュー画面を表示して映像や音声を調整するときに使用します。

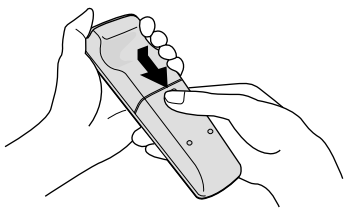
⑦音量調整ボタン（VOL ＋ / －） →20 ページ
音量を調整します。
＋音量を大きくします。
－音量を小さくします。

⑧調整ボタン（◀ /▶/▲/▼） →24-40 ページ
メニュー画面表示中に、項目を選択、または内容の調整や設定をするときに使います。

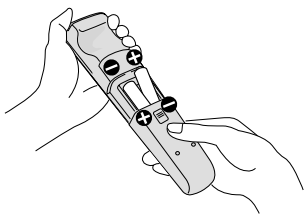
⑨決定ボタン（ENTER） →24-40 ページ
調整メニュー、設定内容を決定します。

⑩モニター選択ボタン（SHIFT1 ～ 4） →34-35 ページ
複数のディスプレイを使用している場合、ディスプレイに番号をつけて、1 つのリモコンで 4 台まで個別に操作ができます。

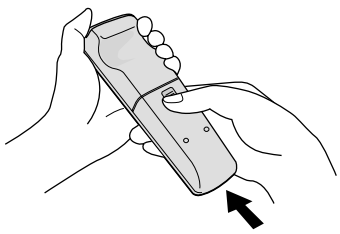
電池の入れ方



① カバーを押しながらスライドさせ、はずします。



② 単3形電池を2本入れます。（＋）、（－）を間違えないように入れてください。



③「カチッ」と音がするまで、カバーを閉めます。

お 願 い 電池が消耗すると、リモコンが正しく動作しなくなります。新しい電池と交換してください。
電池を交換するときは、2 本とも新品で、同じ種類のものを使用してください。

リモコンの取扱い

リモコンの取扱い時のご注意

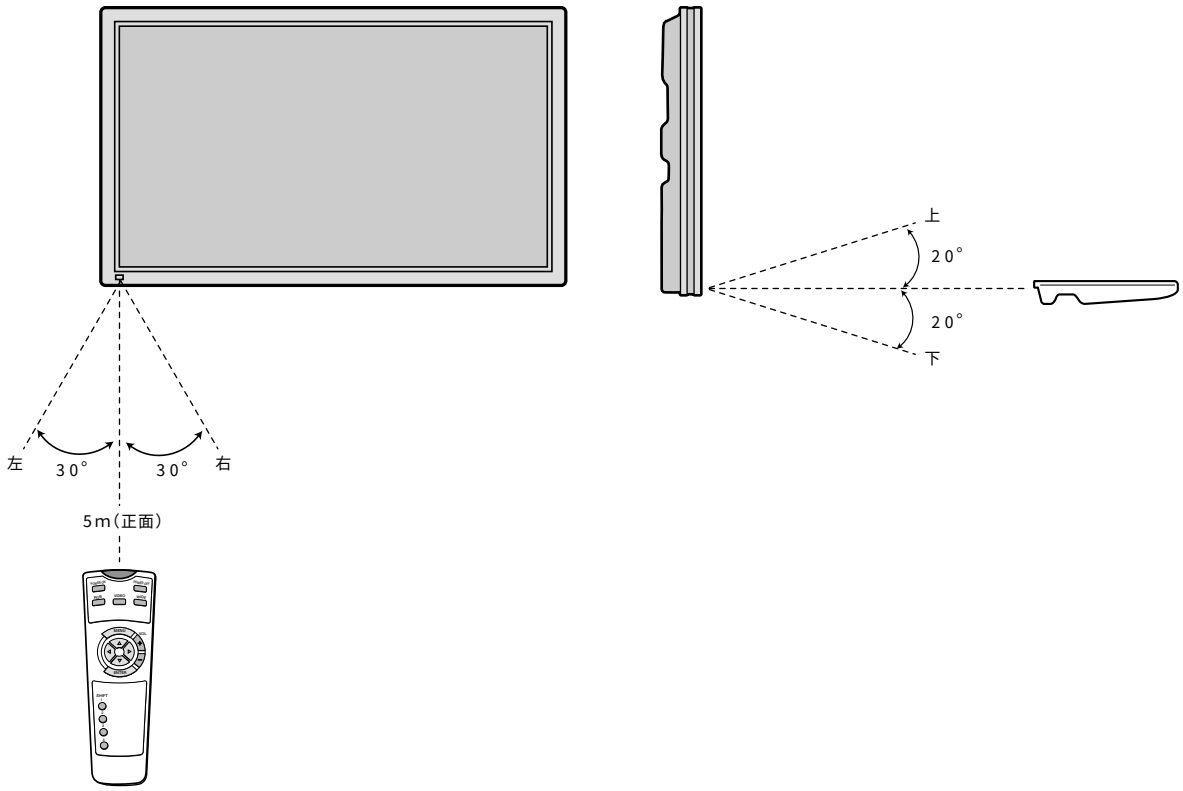
リモコンに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

リモコンを水にぬらしたり、温度の高い所やストーブなどの熱器具の近くには置かないでください。故障や変形の原因となることがあります。

リモコンをベンジン・シンナーなど揮発性の液体でふかないでください。

リモコンの受信範囲

リモコン受信部に向けて操作してください。
本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。



お知らせ 高周波蛍光灯などを使用していると、正しく動作しない場合があります。このようなときは、蛍光灯または、リモコンの操作位置を変えてください。

外部機器の接続

接続する前に、本機および、接続機器の電源を必ず「切」にしてください。
外部機器との接続ケーブルは付属していません。パソコンの機種等により使用する接続ケーブルが異なりますので、販売店にご相談し、お買い求めください。

電源の接続

必ずアースを接地してください。
本機の電源プラグは、アース付き 3 芯プラグです。コンセントが 2 芯専用の場合は、アース工事が必要です。
販売店にご相談ください。

外部機器の接続

端子の位置、種類を確認して、正しく接続してください。

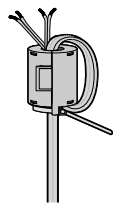
コネクターおよび端子がゆるんでいると、画像が乱れたり、色などが正常に表示されない場合がありますので、しっかり確実に接続してください。

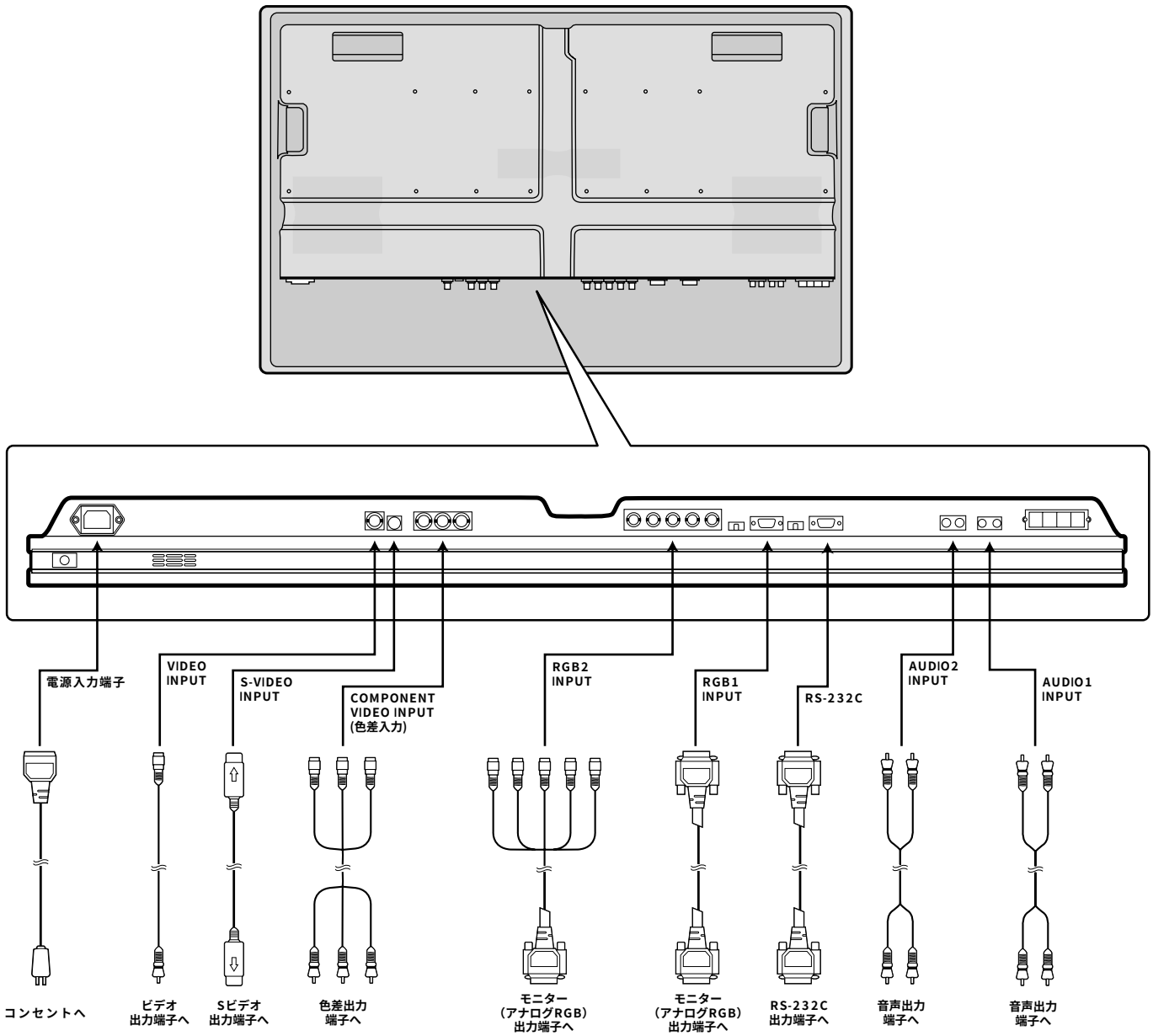
接続が終わりましたら、ケーブルの引き回しを、ケーブルクランパーで固定してください。
その後、コネクターカバーを取り付けてください。

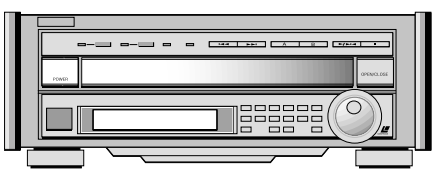
端 子 名	接続コネクター	端 子 名	接続コネクター
VIDEO INPUT	BNC	RGB INPUT	mD-sub 15ピン BNC×5
S-VIDEO INPUT	S端子	AUDIO INPUT	ピンジャック
COMPONENT VIDEO INPUT	BNC×3	RS-232C	D-sub 9 ピン

フェライトコア（ワイヤークランパー付き）…2 個

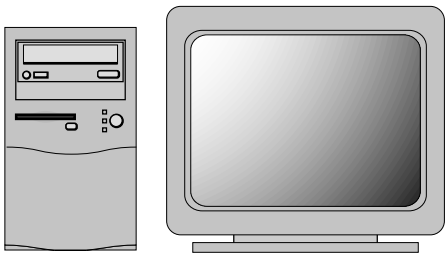
フェライトコア（ワイヤークランパー付き）は、不要電波を軽減するために使用します。
外部スピーカー出力端子にケーブルを接続するときは端子近くに取り付けてください。







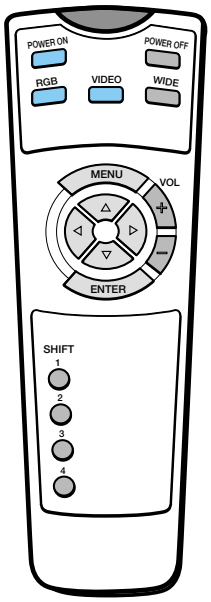
AV機器などとの接続



パソコンなどとの接続

使い方

電源を「入」にする



※本機操作部のボタンでも
調整・設定ができます。

1 本機底面右側の主電源スイッチを押す

主電源が「入」になります。

電源ランプが点灯します。（赤色）

2 POWER ON を押す

電源ランプが「赤色」から「緑色」に変わります。

3 RGB または VIDEO を押す

入力する映像モードを選択します。

電源を「切」にする

電源が「入」のときに POWER OFF を押す

電源ランプが「緑色」から「赤色」に変わります。

音量を調整する

VOLUME ボタンを押す

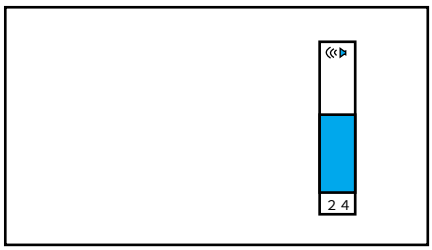
＋　音量が大きくなります。

－　音量が小さくなります。

0 から 40 の範囲で調整できます。

＊Audio input の設定（40 ページ参照）が「No audio」になっているときに VOLUME を押すと、「Speaker off」と表示されます。

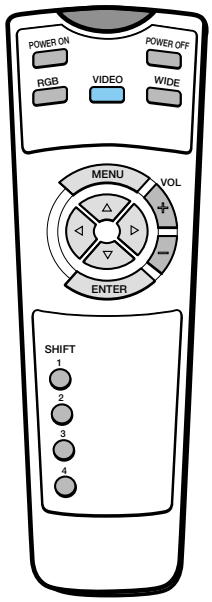
＊電源を「切」にしても現在の音量が記憶されています。



Volume ボタンを押したとき

入力モードを選択する

ビデオ入力モード



※本機操作部のボタンでも調整・設定ができます。

1 VIDEO を押して入力モードを選択する

押すごとに下図のようにモードが切り換わります。

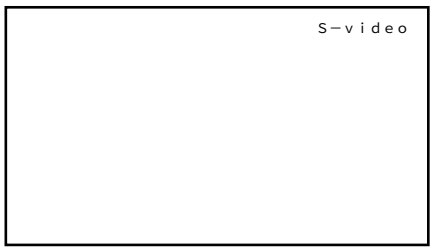
→Video→S-video→Comp. video

Video　ビデオ端子に接続されている機器からの映像をご覧になれます。

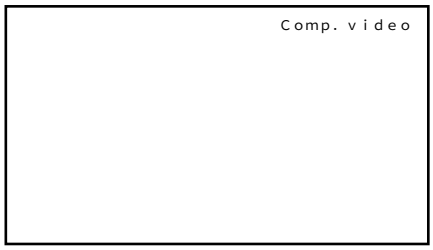
S-video　S ビデオ端子に接続されている機器からの映像をご覧になれます。

Comp. video　コンポーネントビデオ入力端子に接続されている機器からの映像をご覧になれます。

※ RGB 入力モード中でも切り換えられます。

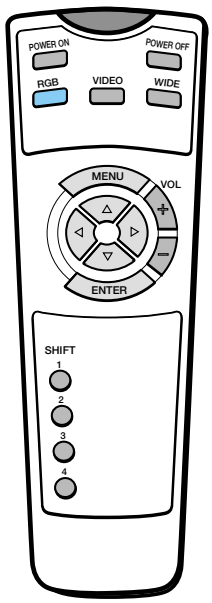


S-video モード



Comp. video モード

RGB 入力モード



※本機操作部のボタンでも調整・設定ができます。

1 RGB を押して入力モードを選択する

押すごとに下図のようにモードが切り換わります。

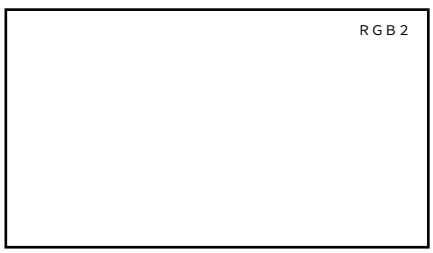
→RGB1→RGB2

RGB1　RGB1 端子（mD-sub）に接続されている機器からの映像をご覧になれます。

RGB2　RGB2 端子（BNC x5）に接続されている機器からの映像をご覧になれます。

※ビデオ入力モード中でも切り換えられます。

RGB1 モード

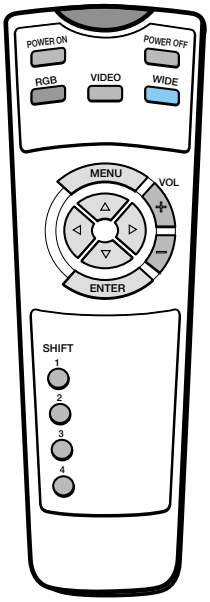


RGB2 モード

使い方

ワイド画面で見る

画面サイズを切り換える



1 WIDE を押す

現在の画面モードが表示されます。

2 WIDE で画面モードを選択する

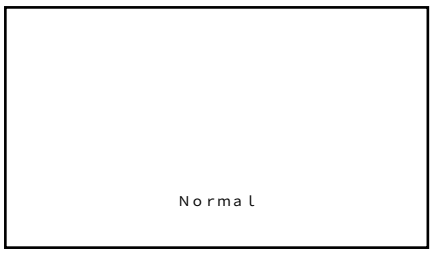
押すごとに下図のようにモードが切り換わります。

ビデオ入力モード

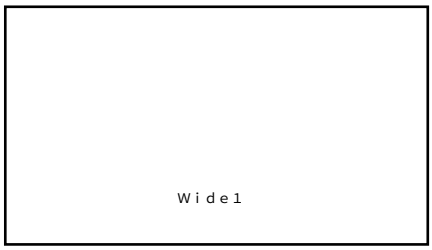
→Normal→Auto→Wide1→Wide2
Zoom2←Zoom1 ┘

RGB 入力モード

→Normal→Wide→Zoom ┐



Normal モードのとき



Wide1 モードを選択したとき

※本機操作部のボタンでも
調整・設定ができます。

お知らせ

●ビデオ入力モードが、[Comp.video]の場合、Auto モードは選択できません。

● Auto モードのときに、映像ソフトの内容によっては、正しく動作しないことがあります。その場合は、WIDE ボタンで最適な画面サイズになるようにモードを切り換えてください。

※ゲームソフトをお楽しみの場合、ソフトによってはズーム画面（画面の上下が欠けた状態）になることがあります。

※標準的なサイズ（横 4：縦 3 の比率）の映像でも、映像の上下が非常に暗いシーンでは、ズーム画面になることがあります。

※自動的にズーム画面になる映像をご覧になるとき、最初のシーンが暗い場合、しばらくの間、ズーム画面にならないことがあります。

お 願 い

本機では、各種の画面モードを選択することができます。テレビ番組やビデオソフトなどの映像比率（画面の縦横比）と異なるモードを選択した場合、オリジナルの映像と見え方が違います。このことをご留意のうえで、画面モードを選択してください。

本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的としてイベント会場、飲食店などでご利用になる場合、オリジナルの映像比率と異なる画面モードで放映すると、著作権法で保護されている映像の著作権を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

制作者の意図を尊重するためには、オリジナルの映像比率と同じモードでご覧ください。

参　照

画面のサイズ、位置を調整する方法は、30 ～ 31 ページを参照してください。

画面サイズ

Normal

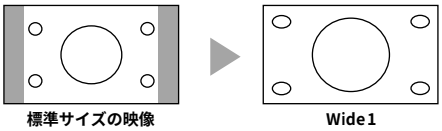
標準サイズ（横 4：縦 3 の比率）の映像をご覧になることができます。

Auto（ビデオ入力モード）

映像ソフトの内容によって、自動的に画面サイズが切り換わります。
＊入力モードが Comp. video の場合、Auto モードは選択できません。

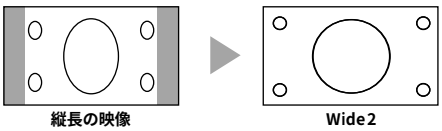
Wide1（ビデオ入力モード）

標準サイズの映像を、違和感の少ないワイド画面としてご覧になれます。



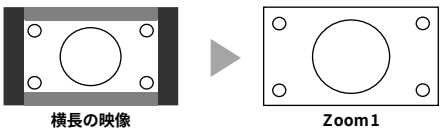
Wide2（ビデオ入力モード）/Wide（RGB 入力モード）

16：9 の映像を 4：3 に圧縮した縦長の映像（スクイーズ映像やハイビジョン放送の録画）をご覧になる場合に最適です。



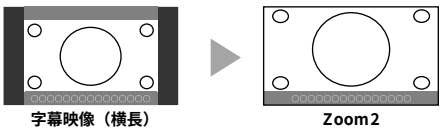
Zoom1（ビデオ入力モード）/Zoom（RGB 入力モード）

横長の映像を、縦横の比率を保ったまま均等に拡大して、ご覧になれます。



Zoom2（ビデオ入力モード）

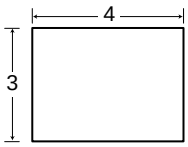
字幕付きの横長映像をご覧になるときに、字幕が欠けない程度に垂直方向を縮小します。
（映像によっては字幕が見えにくい場合もあります。）



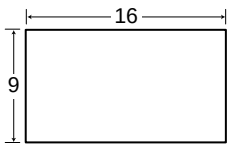
映像比率(アスペクト)とは

映像比率（画面の縦横比）には次の種類があります。

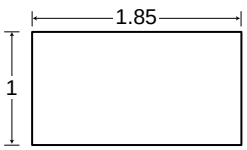
VHF/UHF 放送,BS 放送（画面比率 4：3）



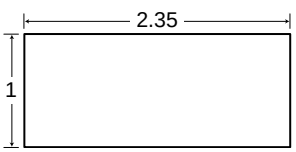
ハイビジョン放送,ワイドクリアビジョン（画面比率 16：9）



ビスタビジョンサイズ（画面比率 1.85：1）



シネマビジョンサイズ（画面比率 2.35：1）



お知らせ 映像ソフトによく見られるビスタビジョンサイズソフトやシネマビジョンサイズソフトをZoomに設定しても、画面の上下に黒い部分が残る場合があります。

メニューの使い方

メニュー項目を選択する

設定・調整する入力モードを本体 MODE ボタンまたはリモコン VIDEO RGB を押して、切り換えます。

1 MENU を押す

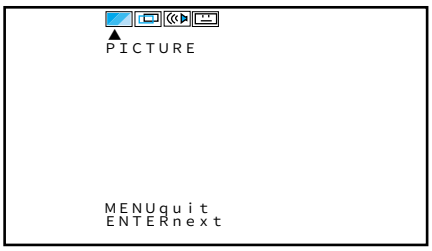
メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀▶を押してメニュー項目を選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

3 ENTER または▼を押す

各メニュー画面が表示されます。



例：PICTURE メニュー画面

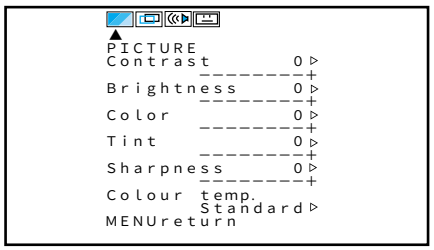
各メニューはイラストでわかりやすく区別されています。

PICTURE 、POSITION/SIZE 、SOUND 、OTHERS

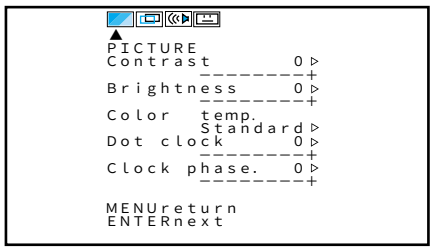
※メニュー表示をしているときは、入力信号を変えないでください。

PICTURE メニューの使い方

それぞれの項目を選択して、ENTER または▶を押すと、その項目の調整・設定画面が表示されます。
その画面で◀▶を押して、内容を調整・設定できます。（28 ～ 29 ページ参照）
調整した内容は各モードごとに記憶されます。



PICTURE メニュー画面（VIDEO 入力モード）

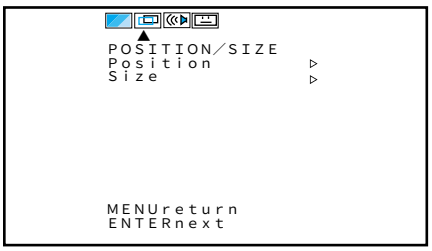


PICTURE メニュー画面（RGB 入力モード）

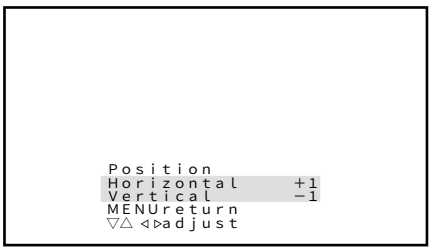
項目	機能	操作	調整範囲
(1)Contrast	画像の濃淡を調整	▶：コントラストが強くなる ◀：コントラストが弱くなる	−30〜+30
(2)Brightness	画面の明るさを調整	▶：画面が明るくなる ◀：画面が暗くなる	−60〜+60
(3)Color (Video、S-video、Comp. videoのみ)	色の濃さを調整	▶：色が濃くなる ◀：色が薄くなる	−60〜+60
(4)Tint (Video、S-video、Comp. videoのみ)	色合いを調整	▶：緑がかった色になる ◀：紫がかった色になる	−30〜+30 (Video、S-video) −60〜+60 (Comp.video)
(5)Sharpness (Video、S-video、Comp. videoのみ)	画質を調整	▶：くっきりした画像になる ◀：やわらかい画像になる	−30〜+30 (Video、S-video) −3〜+3 (Comp. video)
(6)Color temp	色温度を設定	◀▶を押すごとに 切り換わる。	Warm/Standard/ Cool
(7)Dot clock (RGB1、RGB2のみ)	ドットクロックを調整	◀▶で最適な値を選択すると 画面のぼやけが解消される。	−60〜+60
(8)Clock phase (RGB1、RGB2のみ)	クロック位相を調整	◀▶で最適な値を選択すると 画面のぼやけが解消される。	0〜15

POSITION/SIZE メニューの使い方

それぞれの項目を選択して、ENTER または を押すと、その項目の調整画面が表示されます。
その画面で を押して、内容を調整できます。（30 ～ 31 ページ参照）
調整した内容は各モードごとに記憶されます。



POSITION ／ SIZE メニュー画面

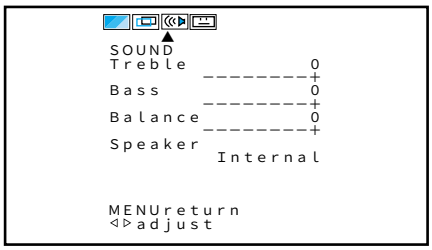


調整中の画面

項目	機能	操作	調整範囲
(1)Position	画面の位置を調整		Video、S-video Horizontal−30～+30 Vertical Zoom:−15～+15 その他:−7～+7 Comp. video −16～+16 RGB −150～+150
Horizontal	水平位置を調整	：画面位置が右に移動する ：画面位置が左に移動する	
Vertical	垂直位置を調整	：画面位置が上に移動する ：画面位置が下に移動する	
(2)Size	画面のサイズを調整		Video、S-video −7～+7 Comp. video −4～+4 RGB −25～+50
Width	水平幅を調整	：水平幅が大きくなる ：水平幅が小さくなる	
Height	垂直幅を調整	：垂直幅が大きくなる ：垂直幅が小さくなる	

SOUND メニューの使い方

それぞれの項目を選択して、 を押すと、内容を調整・設定できます。（32 ～ 33 ページ参照）
調整した内容は各モードごとに記憶されます。



SOUND メニュー画面

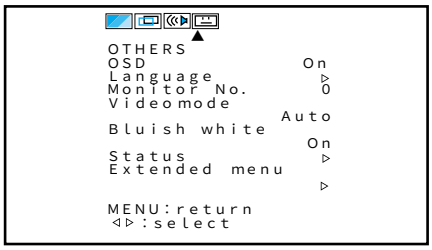
項目	機能	操作	調整範囲
(1)Treble	高音を調整	：高音が強くなる ：高音が弱くなる	−6～+6
(2)Bass	低音を調整	：低音が強くなる ：低音が弱くなる	−6～+6
(3)Balance	左右の音量バランスを調整	：右スピーカーからの音が強くなる ：左スピーカーからの音が強くなる	−10～+10
(4)Speaker	内蔵または外部のスピーカーを選択	を押すごとに切り換わる	Internal(内蔵) External(外部)

OTHERS メニューおよび Extended menu の使い方

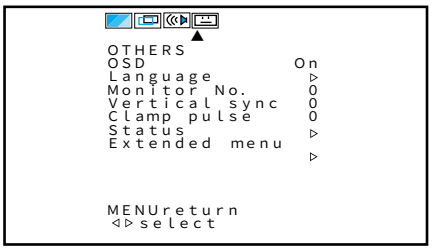
●項目の後に▷が表示されている場合
それぞれの項目を選択して、ENTER または を押すと、その項目の調整・設定画面が表示されます。
その画面で を押して、内容を調整・設定できます。

●項目の後に▷が表示されていない場合
それぞれの項目を選択して、 を押すと、その項目の調整・設定ができます。（34 ～ 40 ページ参照）
調整した内容は各モードごとに記憶されます。

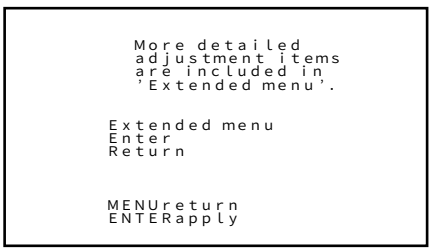
OTHERSメニュー



OTHERS メニュー画面（VIDEO 入力モード）



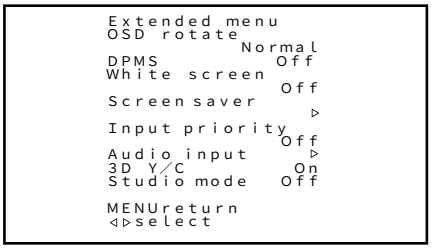
OTHERS メニュー画面（RGB 入力モード）



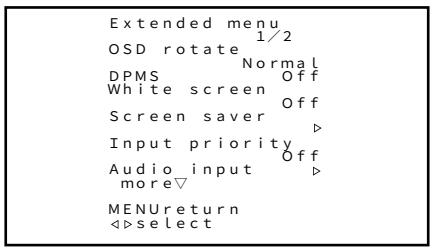
Extended menu メッセージ画面

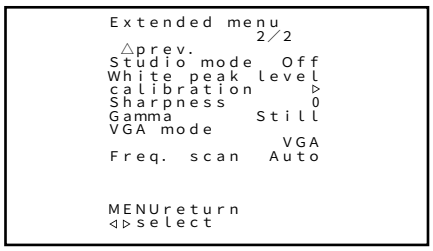
項目	機能	操作	調整範囲
(1)OSD	メニュー以外の画面表示の表示・非表示を選択	を押すごとに切り換わる	On（表示） Off（非表示）
(2)Language	メニューの表示言語を変更	Language画面を表示し を押して選択する ENTER を押すと表示言語が切り換わる	English（英語） Deutsch（ドイツ語） Español（スペイン語） Français（フランス語） Italiano（イタリア語） Português（ポルトガル語）
(3)Monitor No.	モニターナンバーを設定	を押すごとに切り換わる	0(設定なし）/ 1/2/3/4
(4)Video mode （Video、S-videoのみ）	ビデオ方式を選択	を押すごとに切り換わる	Auto/NTSC/PAL/ SECAM/N-PAL/M-PAL/ 4.43NTSC
(5)Vertical sync (Comp. video、RGB1、RGB2のみ)	垂直同期信号を補正	で最適な値を選択すると 画面のゆれが解消される	−2～+1
(6)Clamp pulse (Comp. video、RGB1、RGB2のみ)	クランプパルスを設定	を押すごとに切り換わる	0～8
(7)Bluish white （Video、S-videoのみ）	白い部分をより白く見せるための設定	を押すごとに切り換わる	On（白をより白く） Off（機能不使用）
(8)Status	システム動作状態を表示	ENTER を押すと最新の情報に更新される	表示のみ
(9)Extended menu	拡張メニュー画面	メッセージ画面が表示される Enter: 拡張メニュー画面を表示する Return: OTHERSメニュー画面へ戻る	

Extended menu



Extended menu 画面（VIDEO 入力モード）





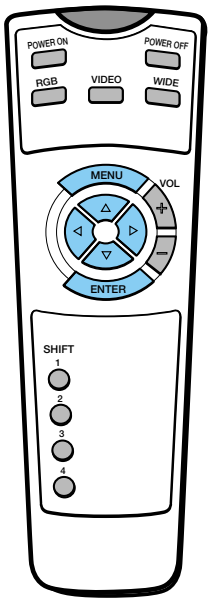
Extended menu 画面（RGB 入力モード）

項目	機能	操作	調整範囲
(1)OSD rotate	表示文字を回転	◀▶を押すごとに切り換わる	-90 deg(反時計回り) / Normal/+90 deg（時計回り） /
(2)DPMS	節電機能の待機時間を設定	◀▶を押すごとに切り換わる	Off(機能不使用) / 1/3/5/10/30（単位：分）
(3)White screen	全画面白表示を設定	◀▶を押すごとに切り換わる	Off（機能不使用） / Link DPMS/On
(4)Screen saver	画面保護機能を設定	Screen saver画面を表示し ▲▼を押して項目を選択する ◀▶を押すごとに切り換わる	Function Off（機能不使用） / Time（1時間経過ごと） / Mode（入力モード切換時ごと） Moving area Narrow（わずかな移動） / Standard（中程度の移動） / Wide（広範囲の移動）
(5)Input priority	最優先モードを設定	◀▶を押すごとに切り換わる	Off/Video/S-video/ Comp. video/RGB1/RGB2
(6)Audio input	音声入力端子の設定	Audio input画面を表示し ▲▼を押して項目を選択する ◀▶を押すごとに切り換わる	Audio1/Audio2/No audio
(7)3D Y/C（Video(3.58NTSC)のみ）	3次元Y/C回路を設定	◀▶を押すごとに切り換わる	On（3次元Y/C回路） / Off（3ライン）
(8)Studio mode	色温度を設定	◀▶を押すごとに切り換わる	On（放送局用） / Off（通常の設定）
(9)White peak level calibration（RGB1、RGB2のみ）	輝度を調整	White peak level calibration 画面を表示し、 ▲▼を押して項目を選択する	Execute（実行） Original（工場出荷時の値） Cancel（実行取消）
(10)Sharpness（RGB1、RGB2のみ）	画質を調整	▶：くっきりした画像になる ◀：やわらかい画像になる	−3〜+3
(11)Gamma（RGB1、RGB2のみ）	ガンマ補正	◀▶を押すごとに切り換わる	Motion（動画） Still（静止画）
(12)VGA mode（RGB1、RGB2のみ）	VGAモードを設定	◀▶を押すごとに切り換わる	VGA/Wide VGA
(13)Freq. scan（RGB1、RGB2のみ）	周波数自動追従を設定	◀▶を押すごとに切り換わる	Auto（自動追従） / Fix（固定）

映像を調整する（PICTURE）

基本手順［例：色合い（Tint）を調整する］

映像に関する項目はすべて PICTURE メニュー画面から調整・設定できます。
調整・設定する入力モードを選びます。（調整・設定する内容は各入力モードごとに記憶します）



※本機操作部のボタンでも調整・設定ができます。

メニュー表示

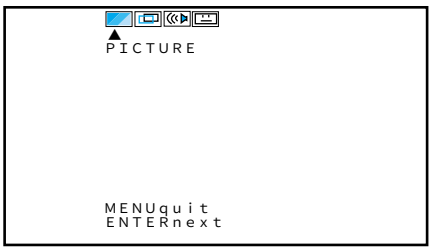
1 MENU を押す

メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶ を押して、PICTURE を選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

PICTURE↔POSITION/SIZE↔SOUND↔OTHERS



PICTURE を選択した画面

3 ENTER または ▼ を押す

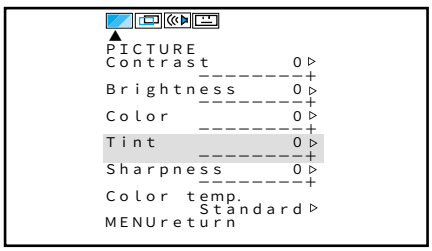
PICTUREメニュー画面が表示されます。

項目選択

4 ▲ ▼ を押して、Tint を選択する

5 ENTER または ▶ を押す

調整画面が表示されます。

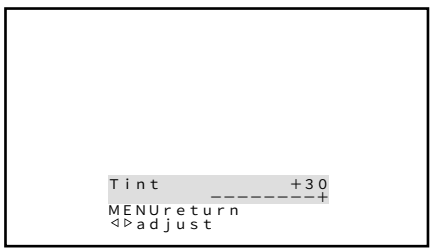


Tint を選択した画面（VIDEO 入力モード）

項目調整

6 ◀ ▶ を押して、Tint を調整する

◀ を押す…緑がかった色になります。
▶ を押す…紫がかった色になります。



Tint 調整画面

終了

MENUを数回押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、4, 5, 6 の操作を繰り返します。

コントラスト(画像の濃淡)を調整する(Contrast)　[V][S][C][R1][R2]

ー 30 から +30 の範囲で調整できます。

を押す：コントラストが強くなります。

を押す：コントラストが弱くなります。

明るさを調整する(Brightness)　[V][S][C][R1][R2]

ー 60 から +60 の範囲で調整できます。

を押す：画像が明るくなります。

を押す：画像が暗くなります。

色の濃さを調整する(Color)　[V][S][C]

ー 60 から +60 の範囲で調整できます。

を押す：色が濃くなります。

を押す：色が薄くなります。

色合いを調整する(Tint)　[V][S][C]

ー 30 から +30（[V][S]）、ー 60 から +60（[C]）の範囲で調整できます。

を押す：緑がかった色になります。

を押す：紫がかった色になります。

画質を調整する(Sharpness)　[V][S][C]

ー 30 から +30（[V][S]）、ー 3 から +3（[C]）の範囲で調整できます。

を押す：くっきりした画像になります。

を押す：やわらかい画像になります。

色温度を設定する(Color temp.)　[V][S][C][R1][R2]

で色温度の設定ができます。押すごとに切り換わります。

→Warm↔Standard↔Cool↩

Warm：赤みがかった色になります。

Standard：標準

Cool：青みがかった色になります。

※ OTHERS メニューの Studio mode が Off のときに設定ができます。
On のときには設定できません。（37 ～ 40 ページ参照）

ドットクロックを調整する(Dot clock)　[R1][R2]

パソコンのクロック周波数の違いによって、画像がぼやけることがあります。そのときには、Dot clock を調整します。

でー 60 から +60 の範囲で調整できます。

クロック位相を調整する(Clock phase)　[R1][R2]

パソコンのクロック位相の違いによって、画像がぼやけることがあります。そのときには、Clock phase を調整します。

で 0 から 15 の範囲で調整できます。

お 願 い Dot clock、Clock phase の調整時は、画面表示を WIDE でノーマルモードにしてください。

※ 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

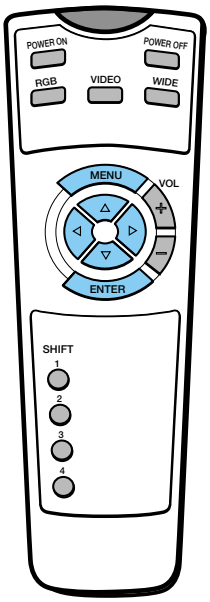
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。

[V]：Video モード、[S]：S-video モード、[C]：Comp. video モード、[R1]：RGB1 モード、[R2]：RGB2 モード

画面位置・サイズを調整する(POSITION/SIZE)

基本手順［例：画面位置を調整する］

画面位置に関する項目はすべて POSITION/SIZE メニュー画面から調整・設定できます。
調整・設定する内容は各入力モードごとに記憶しますので、調整・設定する入力モードを選択してから以下の操作を行ってください。



※本機操作部のボタンでも調整・設定ができます。

メニュー表示

1 MENU を押す

メインメニュー画面が表示されます。

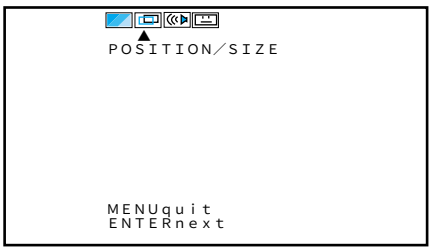
2 ◀ ▶ を押して、POSITION/SIZE を選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

PICTURE↔POSITION/SIZE↔SOUND↔OTHERS

3 ENTER または ▼ を押す

POSITION/SIZE メニュー画面が表示されます。



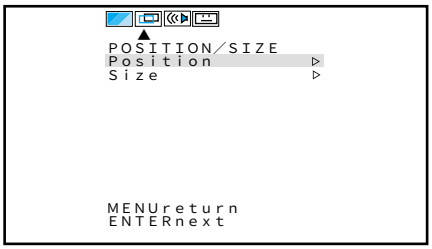
POSITION/SIZE を選択した画面

項目選択

4 ▲ ▼ を押して、Position を選択する

5 ENTER または ▶ を押す

Position 調整画面が表示されます。

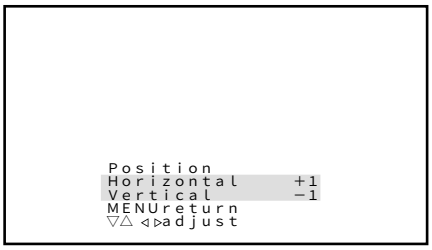


Position を選択した画面

項目調整

6 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して、画面位置を調整する

- ▲ を押す…画面位置が上に移動します。
- ▼ を押す…画面位置が下に移動します。
- ▶ を押す…画面位置が右に移動します。
- ◀ を押す…画面位置が左に移動します。



Position 調整画面

終了

MENUを数回押して、終了する

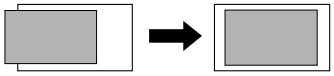
＊他の項目も調整する場合は、4, 5, 6 の操作を繰り返します。

画面位置を調整する（Position）

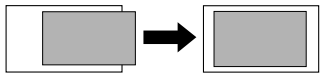
V S C R1 R2

水平位置（Horizontal）

を押す：画面位置が右に移動します。

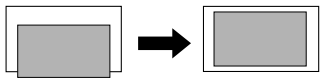


を押す：画面位置が左に移動します。

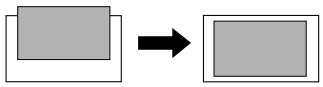


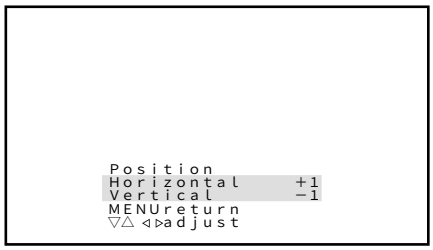
垂直位置（Vertical）

を押す：画面位置が上に移動します。



を押す：画面位置が下に移動します。





Position 調整画面

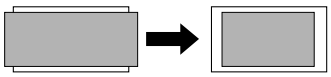
画面サイズを調整する（Size）

V S C R1 R2

水平幅（Width）

を押す：画面の水平幅が大きくなります。

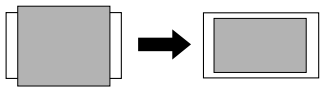
を押す：画面の水平幅が小さくなります。

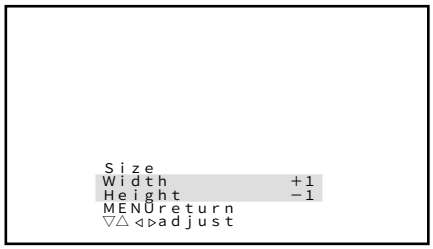


垂直幅（Height）

を押す：画面の垂直幅が大きくなります。

を押す：画面の垂直幅が小さくなります。





Size 調整画面

調整値

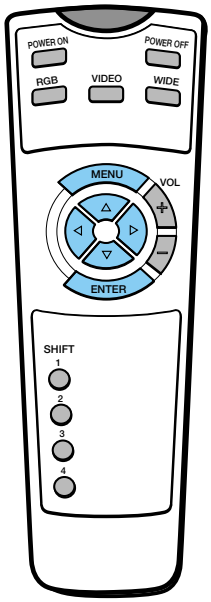
	Video、S-videoモード時	Comp. videoモード時	RGBモード時
Position	Horizontal　−30〜+30 Vertical Zoomのとき　−15〜+15 その他のとき　−7〜+7	−16〜+16	−150〜+150
Size	−7〜+7	−4〜+4	−25〜+50

※ 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。
V：Video モード、S：S-video モード、C：Comp. video モード、R1：RGB1 モード、R2：RGB2 モード

音声を調整する（SOUND）

基本手順［例：左右の音量バランス（Balance）を調整する］

音声に関する項目はすべて SOUND メニュー画面から調整・設定できます。
調整・設定する内容は各入力モードごとに記憶しますので、調整・設定する入力モードを選択してから以下の操作を行ってください。



※本機操作部のボタンでも調整・設定ができます。

メニュー表示

1 MENU を押す

メインメニュー画面が表示されます。

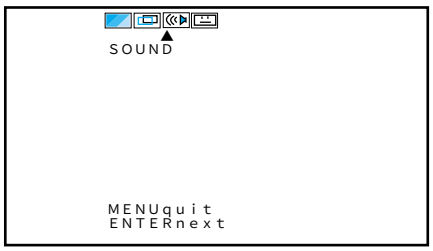
2 ◀ ▶ を押して、SOUND を選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

PICTURE↔POSITION/SIZE↔SOUND↔OTHERS

3 ENTER または ▼ を押す

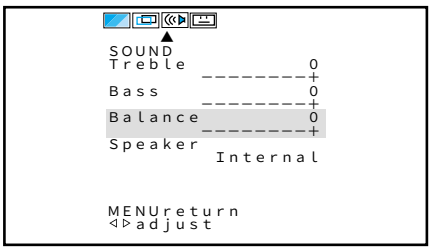
SOUNDメニュー画面が表示されます。



SOUND を選択した画面

項目選択

4 ▲ ▼ を押して、Balance を選択する



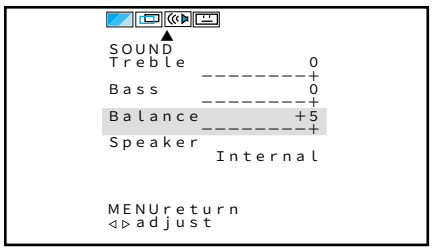
Balance を選択した画面

項目調整

5 ◀ ▶ を押して、左右の音量を調整する

◀を押す… 右スピーカーからの音が強くなります。

▶を押す… 左スピーカーからの音が強くなります。



Balance を調整した画面

終了

MENUを数回押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、4, 5 の操作を繰り返します。

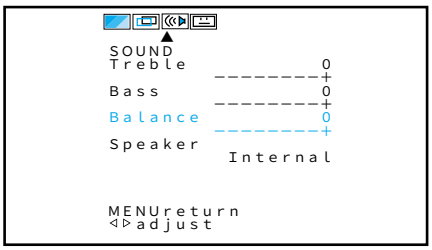
高音を調整する（Treble）

V S C R2

ー 6 から +6 の範囲で調整できます。

を押す：高音が強くなります。

を押す：高音が弱くなります。



SOUND メニュー画面

低音を調整する（Bass）

V S C R1 R2

ー 6 から +6 の範囲で調整できます。

を押す：低音が強くなります。

を押す：低音が弱くなります。

左右の音量のバランスを調整する（Balance）

V S C R1 R2

ー 10 から +10 の範囲で調整できます。

を押す：右スピーカーからの音が強くなります。

を押す：左スピーカーからの音が強くなります。

スピーカーを選択する（Speaker）

V S C R1 R2

で使用するスピーカーを選択します。

押すごとに切り換わります。

Internal ⟷ External

Internal ：内蔵スピーカーを使います。

External：外部スピーカー（別売品）を使います。

※ 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

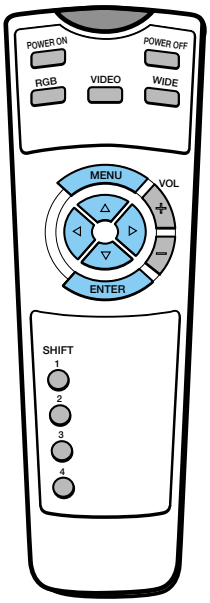
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。

V：Video モード、S：S-video モード、C：Comp. video モード、R1：RGB1 モード、R2：RGB2 モード

その他の設定（OTHERS）

基本手順［例：表示言語（Language）を切り換える］

映像に関する項目はすべて OTHERS メニュー画面から調整・設定できます。
画面表示（OSD）、表示言語（Language）、モニターナンバー（Monitor No.）については、本機において共通の設定です。その他の項目では、調整・設定する内容は各入力モードごとに記憶しますので、調整・設定する入力モードを選択してから以下の操作を行ってください。



※本機操作部のボタンでも調整・設定ができます。

メニュー表示

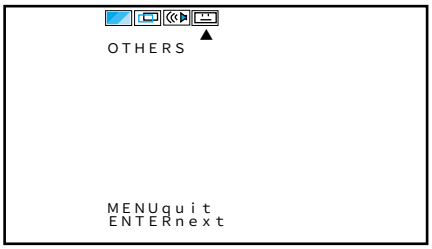
1 MENU を押す

メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶ を押して、OTHERS を選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

PICTURE↔POSITION/SIZE↔SOUND↔OTHERS



OTHERS を選択した画面

3 ENTER または ▼ を押す

OTHERSメニュー画面が表示されます。

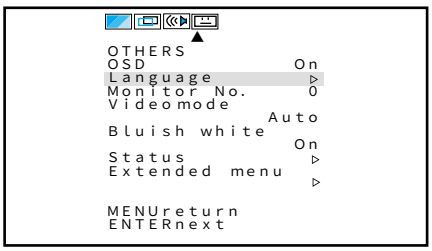
項目選択

4 ▲ ▼ を押して、Language を選択する

5 ENTER または ▶ を押す

Language 設定画面が表示されます。

●項目の右に▷が表示されている場合
それぞれの項目を選択して、ENTER または ▶ を押すと、その項目の調整画面が表示されます。その画面で内容を設定・調整できます。



Language を選択した画面(VIDEO モード)

項目調整

6 ▲ ▼ を押して、言語を選択する

7 ENTER を押す

選択した言語でメニューが表示されます。

Language 調整画面

終了

MENUを数回押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、4, 5 の操作を繰り返します。

画面表示を設定する（OSD）　共通設定

OSD では、メニュー以外の画面表示について表示する、しない、を選択できます。（エラーメッセージは表示されます）

を押すごとに切り換わります。

On↔Off

On：すべての項目が画面表示されます。

Off：メニュー、エラーメッセージ以外は画面表示されません。

表示言語を選択する（Language）　共通設定

Language では、画面に表示する言語を変更することができます。

① Language を選択して、ENTER または を押す

Language 画面が表示されます。

② を押して言語を選択する

English：英語

Deutsch：ドイツ語

Español: スペイン語

Français: フランス語

Italiano：イタリア語

Português: ポルトガル語

③ ENTER を押す

選択した言語でメニューが表示されます。

④ MENU を押す

OTHERS 画面に戻ります。

Language 選択画面

モニターナンバーを設定する（Monitor No.）　共通設定

ディスプレイを複数設置したときに、モニターナンバーを設定して、1つのリモコンから個別に操作することができます。

を押すごとに切り換わります。

→0↔1↔2↔3↔4←

0：　通常に操作できます。
　　SHIFT ボタンを押すと、操作できません。

1～4：リモコンの SHIFT 1～4 を押しながら、それぞれのナンバー設定されているモニターを個別に操作することができます。
　　SHIFT ボタンを押さなければ通常に操作できます。

＊ Status 表示でモニターナンバーを確認できます。（36 ページ参照）

ビデオ方式を選択する（Video mode）　V S

入力する映像のビデオ方式を選択できます。

を押すごとに切り換わります。

→Auto↔NTSC↔PAL↔SECAM↔N-PAL↔M-PAL↔4.43NTSC←

Auto：ビデオ方式が自動的に選択されます。

Auto 以外：入力信号に合わせて設定してください。

※ 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。

V：Video モード、S：S-video モード、C：Comp. video モード、R1：RGB1 モード、R2：RGB2 モード

その他の設定（OTHERS）（つづき）

画面のゆれを補正する（Vertical sync）

C R1 R2

垂直方向に画面がゆれるときに、垂直同期信号のタイミングを補正します。

◀ ▶ を押して－2 ～ +1 の範囲で調整します。

クランプパルスを設定する（Clamp pulse）

C R1 R2

接続した機器からの入力信号に応じて、クランプパルスを調整します。

通常は自動で最適値に設定されます。

◀ ▶ を押して、0 ～ 8 の範囲で調整します。

白色をより白く見せる（Bluish white）

V S

画面の白色をより白く見せるために設定します。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

On↔Off

On：白をより白く見るときに設定します。

Off：Bluish white は機能しません。

システム動作状態を表示する（Status）

V S C R1 R2

システム動作状態を確認することができます。

① Status を選択して、ENTER または ▶ を押す
Status 画面が表示されます。

② 動作環境を確認する。更新する場合は ENTER を押す

③ MENU を押す
Status 画面が終了し、OTHERS 画面に戻ります。

Mode：右上に入力モードが表示されます。

Monitor No.：モニターナンバー

Frequency：周波数極性（fH、fV）（C R1 R2）

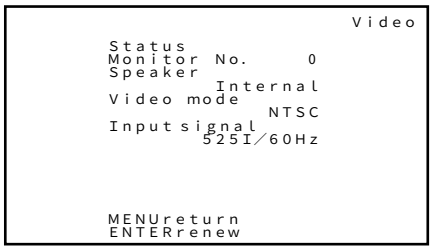
Speaker：スピーカー種類

Freq. scan：周波数自動追従（R1 R2）

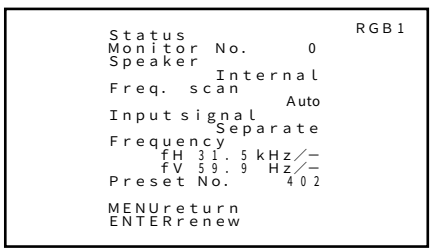
Video mode：ビデオ方式（V Sのみ）

Input signal：信号の種類

Preset No.：RGB 設定パラメータ番号（R1 R2のみ）



Status 表示画面（Video モード）



Status 表示画面（RGB モード）

※ 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

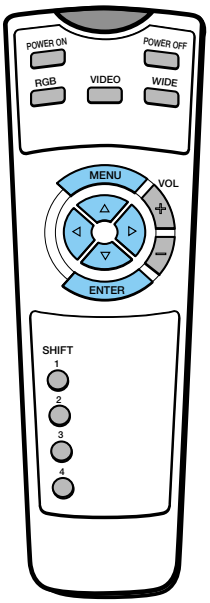
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。

V：Video モード、S：S-video モード、C：Comp. video モード、R1：RGB1 モード、R2：RGB2 モード

拡張機能（Extended menu）

基本手順（例：節電機能（DPMS）を設定する）

拡張機能ではさらに詳細な設定ができます。
拡張機能に関する項目はすべて Extended menu 画面から調整・設定できます。



※本機操作部のボタンでも調整・設定ができます。

メニュー表示

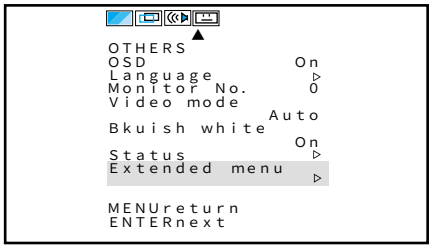
1 OTHERS メニュー画面で ▲ ▼ を押して、Extended menu を選択する

2 ENTER または ▶ を押す

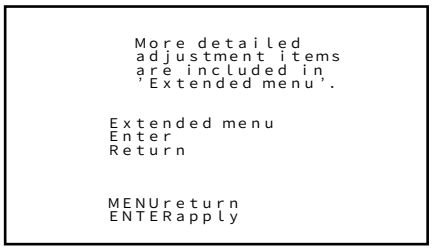
メッセージ画面が表示されます。

3 ▲ ▼ を押して、Enter を選択して、ENTER を押す

Extended menu 画面が表示されます。



Extended menu を選択した画面（VIDEO 入力モード）



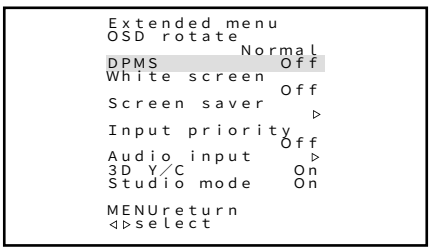
メッセージ画面

項目選択

4 ▲ ▼ を押して、DPMS を選択する

●項目の右に＞が表示されている場合

それぞれの項目を選択して、ENTER または ▶ を押すと、その項目の調整画面が表示されます。その画面で内容を設定・調整できます。



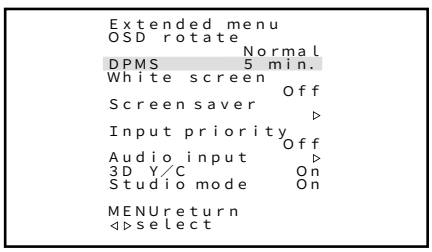
DPMS を選択した画面（VIDEO 入力モード）

項目調整

5 ◀ ▶ を押して、DPMS を設定する

押すごとに下図のように切り換わります。

→Off ↔ 1 min. ↔ 3 min. ↔ 5 min. ←
→30 min. ↔ 10 min. ←



DPMS を設定した画面（VIDEO 入力モード）

終了

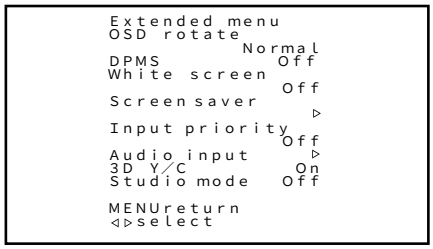
MENUを数回押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、4, 5 の操作を繰り返します。

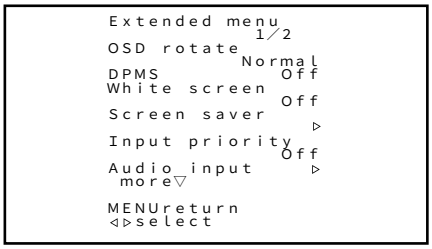
お知らせ DPMS とは Display Power Management Signaling の略称で、自動的に本機の消費電力を減少させる機能です。電源が「入」のとき、設定した時間内に信号が入力されないと、節電機能が働いて自動的に画面が消え入力待機状態となり、電源ランプの表示が橙色に変わります。

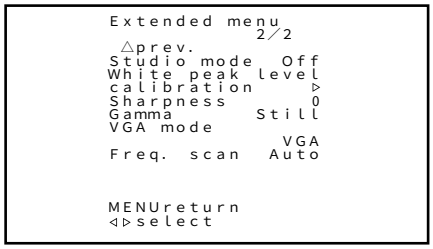
拡張機能（Extended menu）（つづき）

以下に、拡張機能を目的別にご紹介いたします。



Extended menu 画面（Video 入力モード）





Extended menu 画面（RGB 入力モード）

パソコンに関する調整

パソコンを変更したら、映像が明るく（暗く）なった

●輝度を調整する（White peak level calibration）

R1 R2

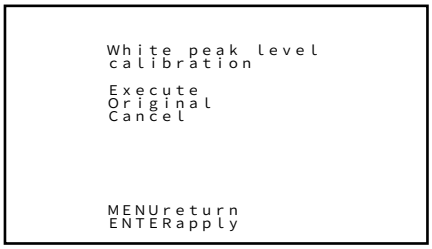
映像のダイナミックレンジを最適に設定します。
あらかじめパソコンの描画ソフトを利用し、（RGB 各 255）で全白画面を作成し、その画面をいったん表示させてから実行してください。

① White peak level calibration を選択して、ENTER または ▷ を押す
White peak level calibration 画面が表示されます。

② △ ▽ を押して設定値を選択する
Execute：白ピークレベルキャリブレーションを実行します。
Original：工場出荷時の設定値に戻します。
Cancel：実行（Execute）を中止して実行前の数値に戻します。

③ ENTER を押す

④ MENU を押す
Extended menu 画面に戻ります。



White peak level calibration 画面

パソコンからの映像をより美しくする

●画質を調整する（Sharpness）

R1 R2

－3 から +3 の範囲で調整できます。
◁ を押す：くっきりした画像になります。
▷ を押す：やわらかい画像になります。

●ガンマ補正をする（Gamma）

R1 R2

動画または静止画に適したダイナミックガンマ補正の設定ができます。
◁ ▷ を押すごとに切り換わります。
Motion↔Still
Motion：動画をご覧になるときに適しています。
Still：静止画をご覧になるときに適しています。

●VGAモードの設定（VGA mode）

R1 R2

VGA モードの入力信号に対する設定を切り換えます。（通常は自動判別します）
◁ ▷ を押すごとに切り換わります。
VGA↔Wide VGA
VGA：水平方向の表示が 640 ドットのものに対応します。
Wide VGA：水平方向の表示が 640 ドットを越えるものに対応します。

●周波数自動追従（Freq. scan）

R1 R2

周波数を自動追従し、最適な画像を表示します。
◁ ▷ を押すごとに切り換わります。
Auto↔Fix
Auto：常に自動的に周波数を追従し、最適な画像を表示します。
Fix：使用中の周波数に固定します。

※ 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。
V：Video モード、S：S-video モード、C：Comp. video モード、R1：RGB1 モード、R2：RGB2 モード

画面保護、節電機能

画面保護機能は焼き付きを軽減する機能であって、なくすものではありません。

●節電機能の待機時間を設定する（DPMS）　共通設定

節電機能が働くまでの待機時間を設定します。
DPMS とは Display Power Management Signaling の略称で、入力信号が途切れたときは一定時間経過後、自動的に本機の消費電力を減少させる機能です。
電源が「入」のとき、設定した時間内に信号が入力されないと、節電機能が働いて自動的に画面が消え入力待機状態となり、電源ランプの表示が橙色に変わります。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→Off↔1 min.↔3 min.↔5 min.↔10 min.↔30 min.←

Off：DPMS は機能しません。
数値：待機時間（単位：分）
※節電中は電源ランプが橙色で表示されます。
※信号が入力されると、待機状態は解除され、自動的に電源が「入」になります。

●全画面を白表示する（White screen）　共通設定

画面の輝度を調整するために、全画面を白で表示し、焼き付けを軽減させます。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

Off↔Link DPMS↔On

Off：全白表示は機能しません。
Link DPMS：入力信号が途絶えるのを確認（20 秒程度）すると自動的に全白表示され、DPMS で設定した待機時間が経過すると、電源が「切」になります。
※ DPMS が設定されていない場合は機能しません。
On：すぐに画面が全白表示されます。
電源をオフにすると解除されます。

●焼き付きを軽減させる（Screen saver）　共通設定

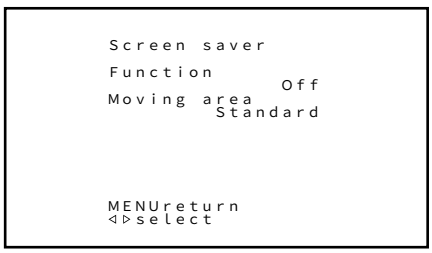
画面の位置を移動させて、画面の焼き付きを軽減させます。
① Screen saver を選択して、ENTER または ▶ を押す
Screen saver 画面が表示されます。
② ▲ ▼ を押して Function を選択する
③ 移動パターンを選択する
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→Off↔Time↔Mode←

Off：スクリーンセーバーは機能しません。
Time：1 時間ごとに移動します。
Mode：電源「入」または入力モードを切り換えたときに移動します。
④ ▲ ▼ を押して Moving area を選択する
⑤ ◀ ▶ を押して移動範囲を選択する
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→Narrow↔Standard↔Wide←

Narrow：狭い範囲の移動
Standard：中程度の範囲の移動
Wide：広い範囲の移動
⑥ MENU を押す
Extended menu 画面に戻ります。



Screen saver 画面

画面保護機能の使用例

断続的に使用するとき	連続して使用するとき
①White screen で Link DPMS を選択する ②DPMS で待機時間を設定する 入力信号が途絶えると自動的に全白表示され、設定時間経過後に電源が「切」になります。	**RGB入力モード、VIDEO入力モードを頻繁には切り換えない場合** ①Screen saver の Function で Time を選択する ②Screen saver の Moving area で移動量を選択する 一定時間ごとに同じ範囲で移動します。 **RGB入力モード、VIDEO入力モードを頻繁に切り換える場合** ①Screen saver の Function で Mode を選択する ②Screen saver の Moving area で移動量を選択する モード切換えのたびに表示位置が移動します。

その他

色温度を再撮用(放送局用)にする(Studio mode)　V S C R1 R2

色温度を通常使用する範囲より低く設定できます。（スタジオなどで使用します。）
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

On↔Off
On：色温度を再撮用に設定します。
Off：通常の設定にします。

On に設定すると PICTURE メニューの Color temp.（色温度）の設定は無効になります。
＊色温度の設定に関しては映像調整 29 ページを参照してください。

縦型に設置したときに文字表示の方向を変更する

●表示文字を回転させる(OSD rotate)　共通設定

画面の表示文字を回転させます。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→－90 Deg↔Normal↔＋90 Deg←

－ 90 Deg：電源ランプが上になるように設置されているときに、文字が水平に表示されます。
Normal：通常
＋ 90 Deg：電源ランプが下になるように設置されているときに、文字が水平に表示されます。

指定モードへの自動切換にする

●最優先モード(Input priority)　共通設定

指定モードの信号を最優先に表示させるために、その信号が入力されたときのみ、モードを自動的に切り換えます。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→Off↔Video↔S-video↔Comp. video↔RGB1↔RGB2←

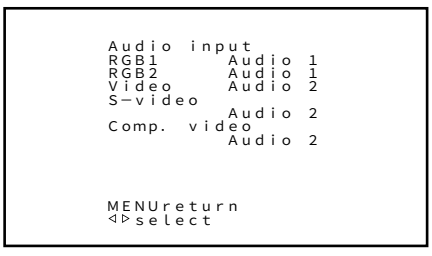
Off：通常のモード切換
各入力モード：通常のモード切換を禁止し、選択したモードに信号が入力されたときのみ優先的に表示されます。

＊ RGB1、RGB2 間のモード切り換えはできません。
選択中の入力モードは設定できません。
最優先モードを設定したときには、入力モードは切り換えられません。

音声入力を変更する

●音声入力端子の割り当て(Audio input)　共通設定

入力機器からの音声を 2 つの入力端子のどちらに入力するかを割り当てます。
① Audio input を選択して、ENTER または ▶ を押す
Audio input 画面が表示されます。
② ▲ ▼ を押して入力機器を選択する
③ 入力端子を選択する
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。
→Audio 1↔Audio 2↔No audio←
Audio1、Audio2：各モードで使用する音声入力端子を選択します。
No audio： 各モードで音声入力が無効になります。
＊すべての入力機器に関して②、③の操作を繰り返します。
④ MENU を押す
Extended menu 画面に戻ります。



Audio input 画面

●3次元Y／C回路を設定する(3D　Y／C)　V

3 次元 Y/C 回路を使用する、しないを設定します。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

On↔Off
On：3 次元 Y ／ C 回路を使用します。
3.58NTSC の信号のときのみ設定できます。
Off：3 ライン を使用します。

＊ PAL,SECAM 信号では 3D　Y/C は選択できません。

※ 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。
V：Video モード、S：S-video モード、C：Comp. video モード、R1：RGB1 モード、R2：RGB2 モード

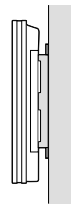
仕様

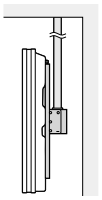
形名		PDS4221J-H／PDS4221J-S
画面サイズ		42型ワイド（幅92.0cm×高さ51.8cm、対角105.6cm）
アスペクト比		16:9（ワイド）
質量		31.5kg
外形寸法		103.5（横）×64.0（縦）×8.5（奥行）cm
使用電源		AC100V 50／60Hz
消費電力		430W（待機時5W）
画面寸法		92.2（横）×52.2（縦）cm
表示画素数		1024（横）×1024（縦）
表示モード		ビデオ、S-ビデオ入力時 ノーマル／オート／ワイド1／ワイド2／ズーム1／ズーム2
		コンポーネントビデオ入力時 ノーマル／ワイド1／ワイド2／ズーム1／ズーム2
		RGB入力時 ノーマル／ワイド／ズーム
表示色数		1677万色
音声出力		1W+1W（EIAJ）
スピーカー		2個 内蔵
外部接続端子	ビデオ関連	ビデオ映像入力　BNC端子1端子　1Vp-p／75Ω
		Sビデオ映像入力　S端子1端子　Y:1Vp-p／75Ω、C:0.286Vp-p／75Ω
		コンポーネントビデオ入力（色差信号入力）　BNC端子3端子　Y:1Vp-p／75Ω Pb／B-Y:0.7Vp-p／75Ω Pr／R-Y:0.7Vp-p／75Ω
	対応方式	NTSC／PAL／SECAM／N-PAL／M-PAL／4.43NTSC
	PC関連	RGB1入力　mD-sub3列15ピン 1端子 映像信号：0.7Vp-p／75Ω 同期信号：TTLレベルまたは0.3Vp-p／75Ω
		RGB2入力　BNC端子×5　R:0.7Vp-p／75Ω G:0.7Vp-p／75Ω B:0.7Vp-p／75Ω H:TTLレベルまたは0.3Vp-p／75Ω V:TTLレベルまたは0.3Vp-p／75Ω
	音声	音声入力　ピンジャック（L／R）2端子2系統 500mVrms／22kΩ以上
	制御	RS-232C　D-sub9ピン 1端子
	外部スピーカー出力端子	レバーターミナル1系統（L／R） 実用最大出力7W＋7W（EIAJ）8Ω
動作使用条件		温度0～40℃ 湿度20～90%
付属品		コネクターカバー 1個、リモコン 1個、ストラップ（リモコン用）1個、単3形乾電池 2本、保証書 1通、取扱説明書 1冊、転倒防止金具 2種類 各2個、ネジ 2種類 各2本、フェライトコア（ワイヤークランパー付き）2個、ケーブルクランパー 2個、電源コード 1本

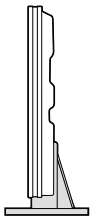
・仕様および外観は、改善のため変更することがありますのでご了承ください。
・本機を使用できるのは、日本国内のみです。
・この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。この際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。
・この装置は、高調波ガイドライン適合品です。
・「Plasmavision®は当社の登録商標です。」

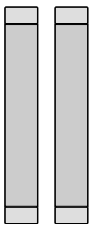
オプション品

壁掛けユニット（縦横兼用型）	取付け角度	縦型 0 ～ 5 ˚ 横型 0 ～ 15 ˚	P-42WB11形
天吊りユニット	取付け角度 0 ˚～15 ˚（可変） パイプは天吊りユニットに付属していませんので販売店にご相談ください		P-42CT11形
卓上スタンド			P-42TT11形
スピーカー			P-42SP11形 （2 個 1 組）
スピーカースタンド			P-42ST11形 （2 個 1 組）









※本機にオプション品を取り付けた場合は、オプション品の取扱説明書または取付説明書の設置仕様に従ってください。

※本機とオプション品の間には、若干の色の差があります。

⚠ 警告

据え付けるときや設置するときは、お買上げ窓口に依頼してください。
ご自分で据付け工事や移設工事をすると、落下・倒れによるケガや火災・感電の原因となります。

アフターサービス

必ずお読みください。

保証について

保証書
（本機に添付してあります）

保証書は必ず販売店からお受け取りください。販売店名、お買上げ年月日などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただいて、大切に保管してください。

保証期間中の修理

正常な状態でご使用いただきながら故障した場合は、1年間無料修理を行います。保証書が無い場合は、保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、よく読んで大切に保管してください。

保証期間
経過後の修理

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください、当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の
最低保有期間

当社はこのディスプレイの補修用性能部品を、製造打切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご贈答品などで購入店に
修理を依頼できない場合

お近くの当社製品取扱店か、本説明書の裏表紙の全国サービスネットワークに記載されている最寄りの当社サービス窓口へご相談ください。

修理を依頼されるとき

次のことを
お知らせください

●**形名**…保証書に記載してあります。
●**故障状態**…できるだけ詳しくお伝えください。
●**お買上げ年月日**…保証書に記載してあります。
●**お客様のお名前、ご住所、お電話番号**
●**訪問希望日**…ご都合の悪い日もお伝えください。

全国サービスネットワーク

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買上げの販売店へお申し付けください。転居や贈答品などでお困りの場合は、最寄りの当社サービスコールセンターへご相談ください。

テレフォンサービス　☎044(857)3000

北海道地区

●サービスコールセンター札幌

北海道全域

☎　011(241)4622（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

札幌サービスセンター
☎011(241)4622(代) 〒060-0007 札幌市中央区北七条西13丁目9番地の1

サービスステーション
札　幌 ☎011(251)1271(代) 〒060-0007 札幌市中央区北七条西13丁目9番地の1

東北地区

●サービスコールセンター仙台

青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島地区

☎　022(239)5233(代)
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

仙台サービスセンター
☎022(239)5106(代) 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町3丁目5番5号

サービスステーション
仙　台 ☎022(239)5131(代) 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町3丁目5番5号
盛　岡 ☎019(638)5130(代) 〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3丁目9番5号
郡　山 ☎024(922)5570(代) 〒963-8851 郡山市開成2丁目37番23号

首都圏地区

●サービスコールセンター東京

東京地区

☎　03（3856）6091～2
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

神奈川・埼玉・千葉・茨城・山梨・群馬・栃木・静岡・長野・新潟地区

☎　044（861）7700（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

大宮サービスセンター
☎048(666)1911(代) 〒330-0031 大宮市吉野町2丁目202番地1号

サービスステーション
大　宮 ☎048(666)1911(代) 〒330-0031 大宮市吉野町2丁目202番地1号
宇都宮 ☎028(662)8221(代) 〒321-0912 宇都宮市石井町2578番地
高　崎 ☎027(328)0711(代) 〒370-0831 高崎市新町6番19号
新　潟 ☎025(271)2251(代) 〒950-0863 新潟市卸新町1丁目842番地28
松　本 ☎0263(27)3246(代) 〒390-0843 松本市高宮南8-12松本丸和ビル

東京第一サービスセンター
☎03(3864)9331代) 〒111-0051 東京都台東区蔵前4丁目18番6号蔵前柴田ビル

東京第二サービスセンター
☎0422(53)6709
☎0422(53)6719 〒180-0014 武蔵野市関前3丁目15番10号

サービスステーション
多　摩 ☎042(583)1151(代) 〒191-0065 日野市旭が丘3丁目3番17号

柏サービスセンター
☎0471(67)7163(代) 〒277-0023 柏市中央1丁目9番2号久保ビル

サービスステーション
千　葉 ☎043(266)6151(代) 〒260-0843 千葉市中央区末広5丁目11番9号

横浜サービスセンター
☎045(944)3900(代) 〒224-0007 横浜市都筑区荏田南5丁目18番53号

サービスステーション
静　岡 ☎054(247)3411(代) 〒420-0804 静岡市竜南3丁目17番22号
浜　松 ☎053(464)0068(代) 〒435-0048 浜松市上西町35番5号

中部地区

●サービスコールセンター名古屋

愛知・岐阜・三重・石川・福井・富山地区

☎　052(775)1846(代)
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

名古屋サービスセンター
☎052(775)1847(代) 〒465-0028 名古屋市名東区猪高台1丁目1315番地

サービスステーション
名古屋 ☎052(775)3751(代) 〒465-0028 名古屋市名東区猪高台1丁目1315番地
三　重 ☎059(232)7407(代) 〒514-0102 津市栗真町屋町1709番地

金沢サービスセンター
☎076(291)2354(代) 〒921-8014 金沢市糸田1丁目71番地

近畿地区

●サービスコールセンター大阪

大阪・京都・和歌山・奈良・兵庫・滋賀地区

☎　06(6304)1553（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

大阪サービスセンター
☎06(6304)1593(代) 〒532-0012 大阪市淀川区木川東2丁目2番10号

サービスステーション
大　阪 ☎06(6306)1171(代) 〒532-0012 大阪市淀川区木川東2丁目2番10号
京　都 ☎075(681)2721(代) 〒601-8342 京都市南区吉祥院東前田町6番地
畿　南 ☎0723(31)9311(代) 〒580-0004 松原市西野々2丁目1番45号

中国・四国地区

●サービスコールセンター広島

広島・岡山・鳥取・島根・山口・香川・徳島・愛媛・高知地区

☎　082(503)5115（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

広島サービスセンター
☎082(291)3551(代) 〒733-0034 広島市西区南観音町17番9号

サービスステーション
広　島 ☎082(291)3551(代) 〒733-0034 広島市西区南観音町17番9号
岡　山 ☎086(244)0151(代) 〒700-0975 岡山市今1丁目13番33号

高松サービスセンター
☎087(885)1111(代) 〒761-8084 高松市一宮町258番の1

九州地区

●サービスコールセンター福岡

福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島地区

☎　092(542)0500（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

福岡サービスセンター
☎092(552)1435(代) 〒815-0031 福岡市南区清水2丁目9番29号

サービスステーション
福　岡 ☎092(552)1451(代) 〒815-0031 福岡市南区清水2丁目9番29号
北九州 ☎093(941)3011(代) 〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目13番5号
鹿児島 ☎099(255)8231(代) 〒890-0073 鹿児島市宇宿3丁目17番13号

※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

（平成11年6月現在）

FUJITSU 株式会社 富士通ゼネラル
〒213-8502 川崎市高津区末長1116番地

8109879015